

OLTAC オルタックサンキュア

SUNCURE

次世代速硬化ウレタン塗膜防水

OLTAC オルタックサンキュア

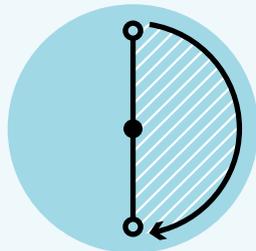
SUNCURE

速硬化ウレタン塗膜防水材料は硬化時間が速い一方で、可使用時間が短く使い難いという弱点がありました。オルタックサンキュアは、従来配合の見直しと新たに取り入れた触媒により、速硬化の特性を維持しつつ、可使用時間を一般のウレタン塗膜防水材料に限りなく近づけた「次世代速硬化ウレタン塗膜防水材料」です。

速硬化タイプなのに まだまだ塗れる!

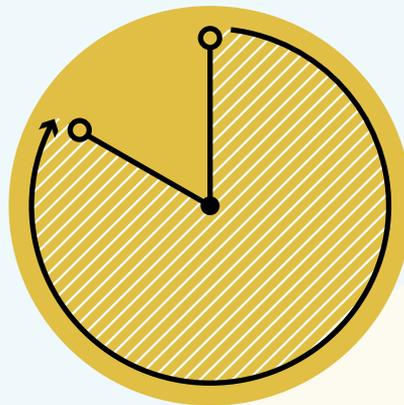
長い
可使用時間

いままでの速硬化は……
(当社従来型比較)



約30分

これからは!
(オルタックサンキュア)



約50分 ※23°Cの場合

1.7倍

可使用時間が
1.7倍*に!

30分経っても
スムーズに施工ができる

特長
1

可使用時間がさらに長くなり 「ふだん使い」しやすい

速硬化のメリットと可使用時間の長さを兼ね備えたオルタックサンキュア。配合の改良で可使用時間がさらに長くなり、より使いやすくなりました。

*可使用時間が従来速硬化ウレタン防水材料の1.5倍(45分)から、1.7倍(50分)に改良。
(当社比:オルタックサンキュアR)

速硬化

特長
2

圧倒的な速硬化性!巾木・側溝部をわずか1日で施工

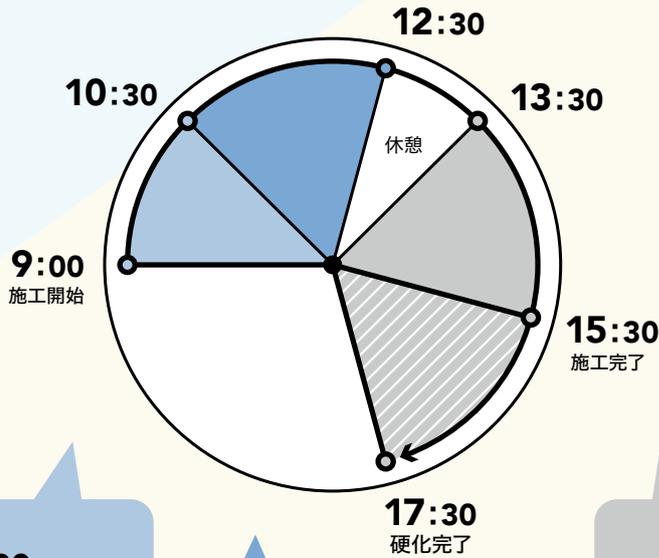
プライマーから保護塗料まで速硬化タイプでシステム化。

オルタックサンキュアなら、廊下やバルコニーの巾木・側溝部の施工を、わずか1日で完了できます。

※OSCV-2QA、OSCL-2QAの場合

巾木・側溝部の1日施工 タイムスケジュール例

※23°Cの場合
※養生作業の時間は別途



巾木・側溝部の施工に 抜群の時短・効率化

巾木・側溝は狭小部が続き、施工効率が悪くなりがちな部位です。オルタックサンキュアの速硬化型システムなら、次工程の塗布開始までの時間を大幅に短縮できます。プライマーから保護塗料まで作業間隔を最短にした、効率的な連続施工が可能になります。



9:00~10:30

速硬化プライマー塗布
速硬化OTプライマーQQ塗布作業



初期硬化時間は約1時間

10:30~12:30

速硬化巾木・側溝用防水材塗布
オルタックサンキュアHS塗布作業



初期硬化時間は約3時間(硬化促進剤5%添加で2時間)

13:30~15:30

速硬化保護塗料塗布
速硬化OTコートA塗布作業



硬化時間は約2時間

※天候等の施工条件より、1日で施工完了できない場合があります。

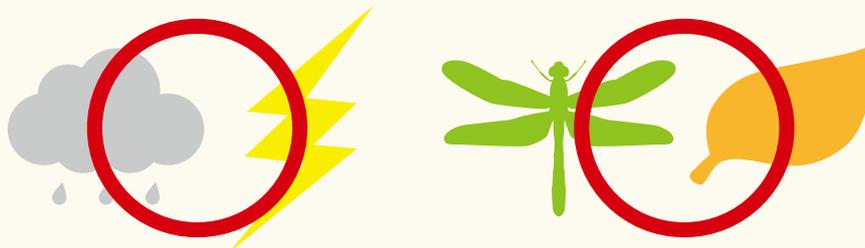
特長
3

雨や夜露が気にならない・ゴミや虫がつきにくい

硬化前の阻害要因に効果的。

夜露でできたクレーターや虫の付着の手直しは、ウレタン塗膜防水施工にありがちな面倒な作業です。

オルタックサンキュアの速硬化性が余計な作業を減らします。



OLTAC
SUNCURE

組合せることで、圧倒的な省力化が実現

Oltac
Supply
System

速硬化 × 圧送

速硬化型プライマー、防水材、保護塗料で工期短縮に貢献する「オルタックサンキュア」。
さらに圧倒的な省力化を実現するのが、オルタックサプライシステム(OSS)による機械化です。
速硬化×圧送(+自動混合)を組合せることで、**1日2工程施工**を可能にします。

省力化をかなえる2つのアプローチ

材料特性(速硬化)による省力化

1日2工程も可能な速硬化性

オルタックサプライシステム用の「オルタックサンキュア500」は、オルタックサンキュアと同様の速硬化性。
23°Cの場合4~5時間で初期硬化し、2層目の施工が可能に。
工期の短縮と少人化に貢献します。

廃材を大幅削減

オルタックサンキュア500はドラム缶の中のポリ袋に充填されているので、圧送後はポリ袋を捨てるだけ。
ドラム缶はリサイクルされるため、廃材の減量に貢献します。
空き缶の廃棄作業に費やしていた時間も節約できます。

※1日2工程施工の実例は5ページをご覧ください。

機械化による省力化

材料の計量・攪拌が不要

オルタックサプライシステムは、材料の混合にエアの巻き込みがないスタティックミキサーを採用。ドラム缶から直接吸入して自動混合するため、計量や攪拌作業の手間もありません。

材料の荷揚げが不要

コンプレッサーによるエア駆動で、ウレタン塗膜防水材を地上から圧送。荷揚げの必要がありません。

※プライマー、保護塗料、立上り用ウレタン防水材、シート類は荷揚げが必要です。



品質を支える自動混合システム

混合不良のないメカニズム

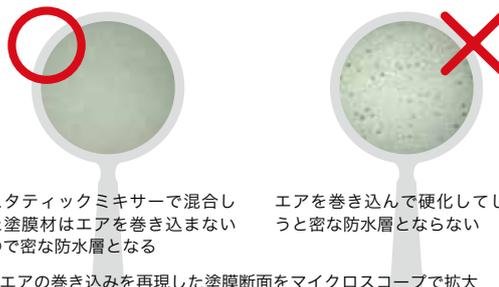
確実な混合を行うために内部に独特な形状のエレメント(右ページを参照)を組み込んだスタティックミキサーを先端部に採用しています。



スタティックミキサーは駆動部のない静止型混合器です。
ミキサー内に入った流体は、内部エレメントの分割、転換、反転の作用により、順次混合されます。
混合の達成度合いは、混合液の粘度とエレメントの数に相関することから、当システムではオルタックサンキュア500を確実に混合できるエレメント数を採用しています。

高品質な防水層を形成

ウレタン塗膜防水の主剤、硬化剤を混合する際に、プロペラ型の攪拌機を用いると、エアを巻き込みやすくなる場合があります。
スタティックミキサーによる混合液は、エアの巻き込みが全くなく、高品質な塗膜を確実に形成することができます。



スタティックミキサーで混合した塗膜材はエアを巻き込まないので密な防水層となる

エアを巻き込んで硬化してしまうと密な防水層とならない

※エアの巻き込みを再現した塗膜断面をマイクロSCOOPで拡大

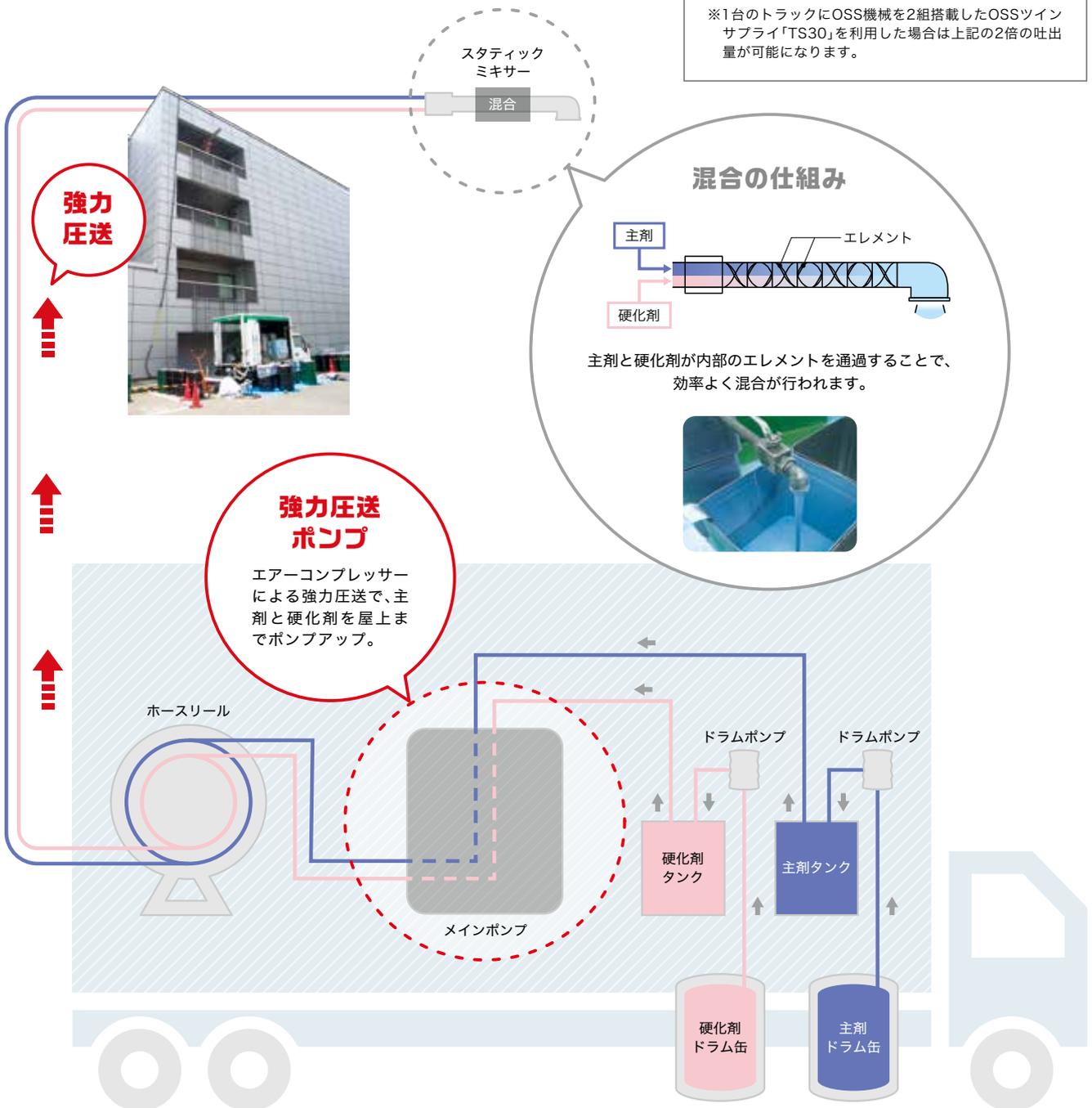
Oltac Supply System

オルタックサプライシステム(OSS)の概要



車両サイズ(2t) 全長:6.21m/幅:2.2m/
高さ:2.95m
作業スペース 8m×5m(作業スペースとして)
吐出量 最大15kg/分
ホース長さ 全長80m
(最大120mまで延長可能)

※1台のトラックにOSS機械を2組搭載したOSSツインサプライ「TS30」を利用した場合は上記の2倍の吐出量が可能になります。



OSSシステム×オルタックサンキュア500による 【1日2工程施工】の実例

オルタックサンキュア500の初期硬化時間は4～5時間(23℃の場合)。

現場の段取りを入念に行えば屋上だけでなく、バルコニーでも1日2工程の施工が可能です(冬季を除く)。

※気象条件、施工段取りによっては、1日2工程の施工ができない場合があります。

【実例1】高層階の屋上

高層マンションでも、OSSシステムで難なくポンプアップ。1日2工程施工を実施しました。

某マンション屋上改修工事
構造/RC造:14階建て
施工部位/屋上
施工面積/330m ²
技能員数/塗布作業 2名
運搬作業他 1名
※OSSシステムオペレーター 1名
施行時期/10月中旬
最高気温/30℃
1層目の施工/8:50~10:10
2層目の施工/12:30~14:00



OSSシステム搭載トラックは地上に配備。屋上に直接伸ばしたホースで材料を強力圧送します。



圧送用ホース



施工時の最低気温は23℃でしたが硬化性は良好で、14:00には2層目の施工が完了しました。

【実例2】低層階の屋上

1層目の施工開始は遅い時間でしたが、気温も高く1日2工程施工をスムーズに完了しました。

某高等学校屋上改修工事
構造/RC造:4階建て
施工部位/屋上(平面部)
施工面積/560m ²
技能員数/塗布作業 2名
運搬作業他 3名
施行時期/6月中旬
最高気温/33.4℃
1層目の施工/10:50~12:00
2層目の施工/13:50~15:10



午前中に1層目の施工



午後には2層目の施工が可能に

【実例3】集合住宅のバルコニー

圧送用ホースを最上階の足場に固定し、上階から下階へと順次施工。65戸のバルコニーを1日で施工しました。

某マンション大規模修繕工事
構造/RC造:6階建て
施工部位/バルコニー(全面)
施工面積/400m ² (65戸)
技能員数/塗布作業 7名
運搬作業他 6名
施行時期/7月中旬
最高気温/32.4℃
1層目の施工/9:30~11:50
2層目の施工/14:10~16:10



スタティックミキサーによる吐出



1層目の施工

カタログの見方

アイコンの説明



歩行

不特定の人が多目的に使用



軽歩行

特定の人が特定の用途に使用



非歩行

メンテナンス程度の使用



密着工法

ウレタン防水層を下地に直接密着させる工法



通気緩衝複合法

下地からの湿気を通気、拡散し下地の動きを緩衝する工法



接着固定

通気緩衝シート、ボード類を接着剤で下地に固定する



機械的固定

アンカーを用いて通気緩衝シートを下地に固定する



外断熱

断熱あり

仕様番号の見方

OS

オルタック
サンキュア

CW

工法

- CW** 通気緩衝複合法・接着固定
- CSL** 通気緩衝複合法・機械的固定
- CTB** アスファルトパネル複合法
- CTI** 通気緩衝複合・断熱工法
- CTIK** 通気緩衝複合・断熱軽歩行工法
- CM** 密着メッシュ入り工法
- CL** 密着メッシュなし工法
- CPM** パラベット笠木用メッシュ入り工法
- CPL** パラベット笠木用メッシュなし工法
- CVP** 巾木・側溝用工法

-

3

防水材使用量

- 2** 2.0kg/m²
- 3** 3.5kg/m²
- 6** 3.0kg/m²
- 8** 2.5kg/m²

QA

保護塗料

- QA** 速硬化OTコートA
- A** OTコートA
- QS** 速硬化OTコートシリコーン
- SC** OTコートシリコーンクール
- S** OTコートシリコーン
- C** OTコートクール
- F** OTコートフッ素
- FC** OTコートフッ素クール
- SK** OTコート水系
- B** OTコート防カビ
- SB** OTコートシリコーン防カビ

OSS

OSS圧送工法

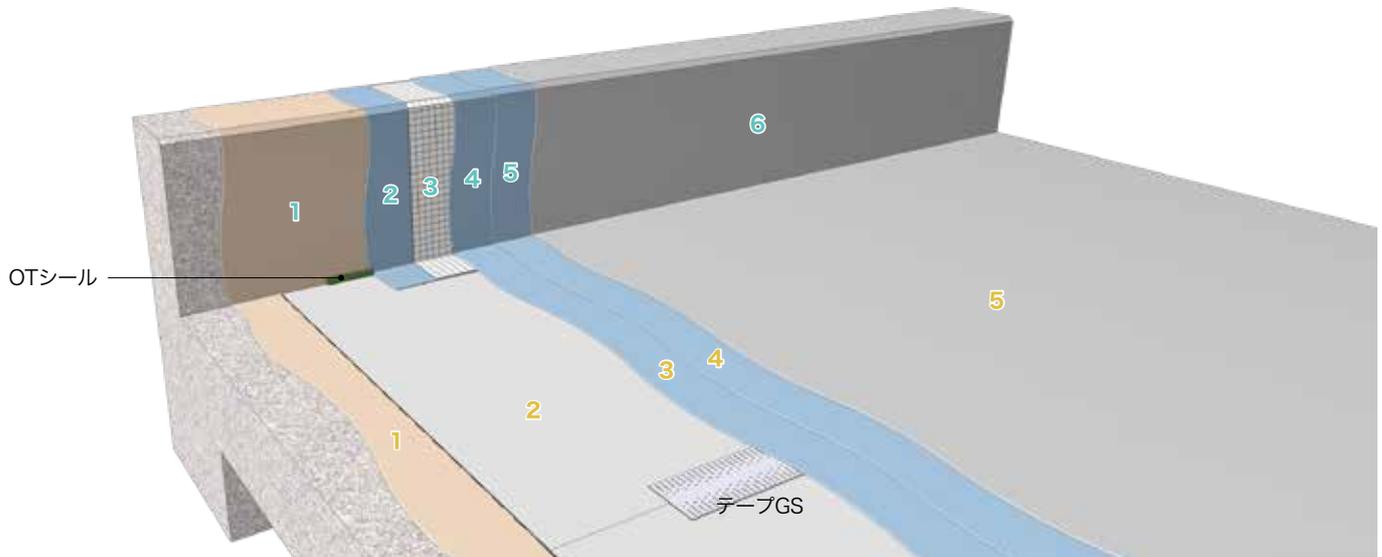
適用部位

適用部位・用途	工法	備考
一般的な屋根、屋上	通気緩衝複合法・接着固定 (OSCW)	新築にも改修にも対応した標準仕様
下地の傷んだ屋上	通気緩衝複合法・機械的固定 (OSCSL)	下地処理費用の軽減と工期短縮を図る場合
特に下地の傷んだ屋上や 下地の水分が多い屋上	アスファルトパネル複合法 (OSCTB)	特に下地の傷んだ屋上、下地の水分が多い屋上、 下地がタイルやブロック敷きの屋上など
断熱効果の高い屋上	通気緩衝複合・断熱工法 (OSCTI)	屋内の断熱効果と建物保護を目的とする場合
断熱効果が高く、 軽歩行が可能な屋上	通気緩衝複合・断熱軽歩行工法 (OSCTIK)	屋内の断熱効果と軽歩行用途を目的とする場合
複雑な形状の屋上	密着M/L工法 (OSCM/OSCL)	出入隅の多い屋上など
パラベット、笠木	笠木工法 (OSCPM/OSCPL)	パラベット、笠木など
巾木、側溝	巾木・側溝用工法 (OSCV)	共用廊下やベランダなどの狭い巾木や側溝部位
屋上、バルコニーなどの工期短縮	自動混合・圧送システムOSS工法 (-OSS)	大面積の屋上、集合住宅のルーフバルコニー、ベランダなど

通気緩衝複合工法・接着固定

専用シートにより、下地からの湿気を通気、拡散する工法。
一般屋上、ルーフバルコニーに適している。

OSCW-3QA



OSCW-3QA



平面部			立上り部		(単位:/m ²)
1	OTプライマー-QQ	0.2kg	1	OTプライマー-QQ	0.2kg
2	オルタックシートGS (ジョイント部 テープGS貼り)	-	2	オルタックサンキュアT	0.3kg
3	オルタックサンキュアR	2.0kg	3	メッシュUB	-
4	オルタックサンキュアR	1.5kg	4	オルタックサンキュアT	1.7kg
5	速硬化OTコートA	0.2kg	5	オルタックサンキュアT	1.0kg
6	-	-	6	速硬化OTコートA	0.2kg

注意事項

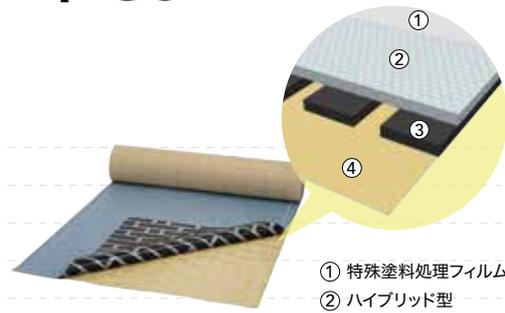
- ・気象条件や下地によって1工程目を使用するOTプライマー-QQを変更する場合があります。詳しくは27ページをご覧ください。
- ・保護塗料は速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については6ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(最大1セットに対して1箱)してください。
防滑処理後でも、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

複合法専用下貼りシート オルタックシートGS

オルタックシートGSは強靱で寸法安定性に優れたハイブリッド型3軸ガラスメッシュを基材とするシートの裏面にゴムアス粘着層をストライプ状に配置した複合法用シートです。

ひび割れ等による下地の動きを緩衝して防水層を保護するとともに、下地の水分をスムーズに脱気させます。

また、従来複合法用シート(オルタックシートWS)に比較して65%もの軽量化に成功。施工性も格段に向上させました。

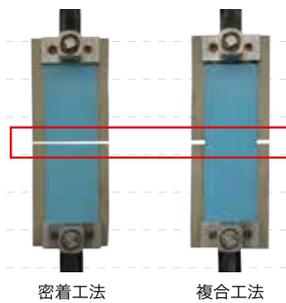


- ① 特殊塗料処理フィルム
- ② ハイブリッド型3軸ガラスメッシュ層
- ③ ストライプ粘着層
- ④ 剥離紙(静電気防止機能付)

オルタックシートGSの特長

優れた下地亀裂追従性能

オルタックシートGSのゴムアス粘着層は、下地のひび割れや既存押えコンクリートの動きに対して柔軟に追従し、防水層の破断を防止します。



■試験体

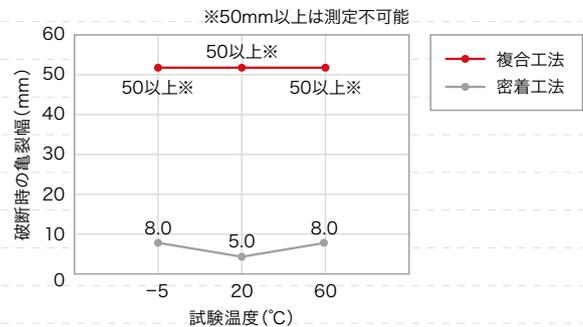
- ① 複合法: オルタックシートGS+オルタックサンキュアR 3.5kg/m²
 - ② 密着工法: オルタックサンキュアR 3.5kg/m²(メッシュなし)
- ※スレート板への貼り付けは標準仕様通りとします。

■試験方法

あらかじめ切り込みを入れたスレート板(400×100mm)に上記防水層を作成、スレート板の両端を10mm/分のスピードで引張り、防水層が破断した亀裂幅を記録します。

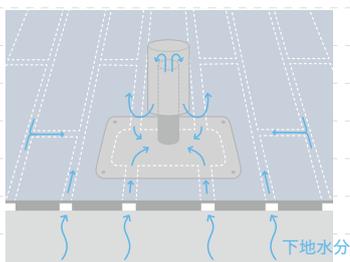
■試験結果

密着工法に比べ、複合法では粘着層が下地の動きに追従することで、防水層の破断を防ぎます。



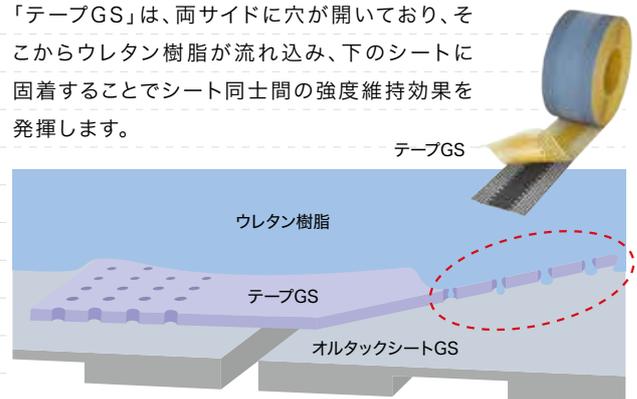
下地の水分をスムーズに脱気

気温の上昇に伴って下地の水分が気化すると、防水層に膨れを生じさせることがあります。オルタックシートGSのストライプ状ゴムアス粘着層は、縦方向・横方向とも不連続であるため、下地に残存する水分を拡散し、局部的なフクレを防ぐ効果があります。水分は脱気筒(ステンレスペーパー)を通して外気に排出します。



シートのジョイントも確実な強度を保持

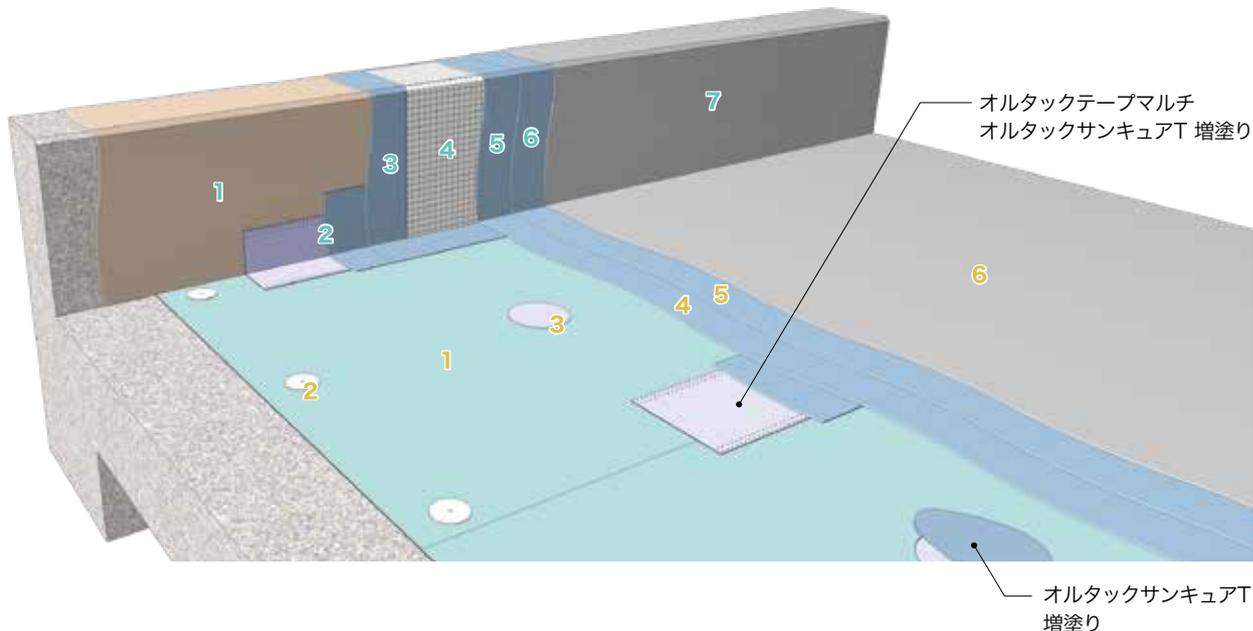
オルタックシートGSのジョイント増貼用テープ「テープGS」は、両サイドに穴が開いており、そこからウレタン樹脂が流れ込み、下のシートに固着することでシート同士の強度維持効果を発揮します。



通気緩衝複合工法・機械的固定

傷んだ下地に対して専用シートを機械的に固定することで、下地の湿気拡散と工期短縮を図れる工法。

OSCSL-3QA



OSCSL-3QA



平面部		立上り部		(単位:/m ²)	
1	オルタックシートLG	-	1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	ASディスク・UPアンカー	2.2カ所/m ²	2	オルタックテープマルチ(立上り・入隅部) オルタックサンキュアT増塗り*	-
3	オルタックLGパッチ オルタックテープマルチ オルタックサンキュアT増塗り*	-	3	オルタックサンキュアT	0.3kg
4	オルタックサンキュアR	2.0kg	4	メッシュUB	-
5	オルタックサンキュアR	1.5kg	5	オルタックサンキュアT	1.7kg
6	速硬化OTコートA	0.2kg	6	オルタックサンキュアT	1.0kg
7	-	-	7	速硬化OTコートA	0.2kg

*LGパッチとテープマルチの上には、オルタックサンキュアTを用いて、塗膜厚1.0mm以上を確保するように増塗りします。
※部分的な固定による工法の性質上、下貼りシートが浮き、シワが発生する場合がありますが、防水機能上の問題はありません。

注意事項

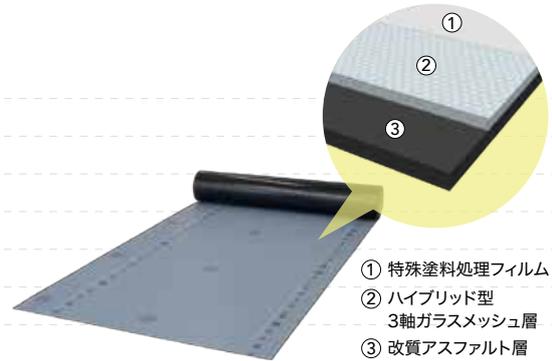
- ・気象条件や下地によって立上り部1工程目を使用するOTプライマーQを変更する場合があります。詳しくは、27ページをご覧ください。
- ・保護塗料は速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については6ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材料を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。(OTコートシリコーン、速硬化OTコートシリコーン、OTコートシリコーンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(1セットに対して1箱)してください。防滑処理後でも、降雨などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

機械的固定工法専用下貼りシート オルタックシートLG

機械的固定工法は、強靱なオルタックシートLGをディスク+アンカーで下地に固定し、ウレタン塗膜防水で仕上げる複合工法です。

機械的固定工法の最大の特長は、さまざまな種類の下地でも大掛かりな処理をせずにオルタックシートLGの施工ができるので、下地処理の手間が大幅に削減できることです。

また、アンカー固定した箇所以外は下地と防水層は接着していないので、下地に残存した水分は自由に拡散し、水分の影響による局部的なフクレを生じません。さらにひび割れなど下地の動きによる防水層への影響を受けにくいなどの特長があり、改修工事に適した工法です。



- ① 特殊塗料処理フィルム
- ② ハイブリッド型
3軸ガラスメッシュ層
- ③ 改質アスファルト層

オルタックシートLGの特長

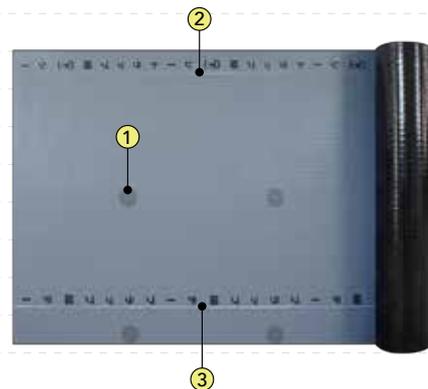
施工性に優れる高耐久シート

オルタックシートLGはハイブリッド型3軸ガラスメッシュ・改質アスファルト・特殊プラスチックフィルムで構成した下貼りシートであり、単独でも十分な防水性能を有している高品質のシートです。

表面には特殊塗料をコーティングしたプラスチックフィルムを使用しており、プライマーなしでオルタックサンキュアを施工できます。また、突然の降雨にも雨養生が簡単に行えます。

【オルタックシートLGのラインについて】

オルタックシートLGの表面には、ディスクの固定位置①と、シートラップ線②、テープラップ線③が印刷してあります。



オルタックテープマルチ

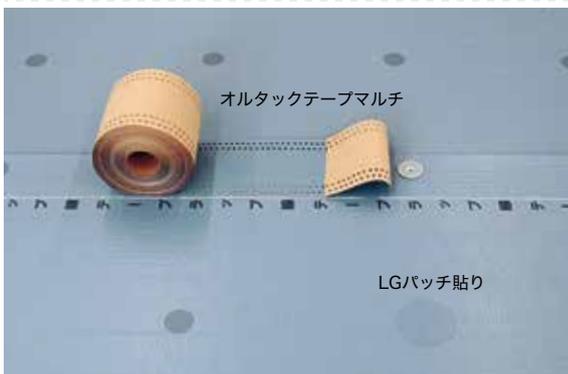
オルタックテープマルチは、テープの両サイドに開けた小さな穴からウレタン樹脂が流れ込んで接着することによってテープ端部の破断抵抗が少なくなり、シート同士間の強度を維持する目地貼テープです。

立上り入隅部の絶縁・補強としても使用します。

オルタックLGパッチ

オルタックLGパッチは、裏面に粘着層が付いている増貼用パッチです。

固定ディスクを完全に覆うサイズになっており、ディスク廻りの処理が簡易かつ確実に行えます。



オルタックテープマルチ(シートジョイント部)とLGパッチ貼付けイメージ

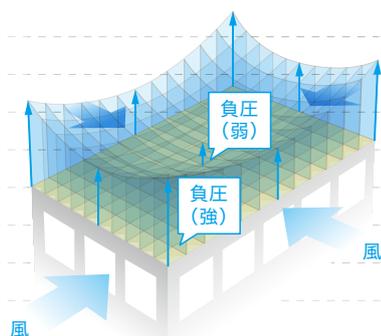
*部分的な固定による工法の性質上、シートが浮き、シワが発生する場合がありますが、防水機能上の問題はありません。

機械的固定工法の固定方法と安全性について

機械的固定工法は、シートが部分固定となるため風で飛散しないように適切な割付でアンカーを固定しなければなりません。

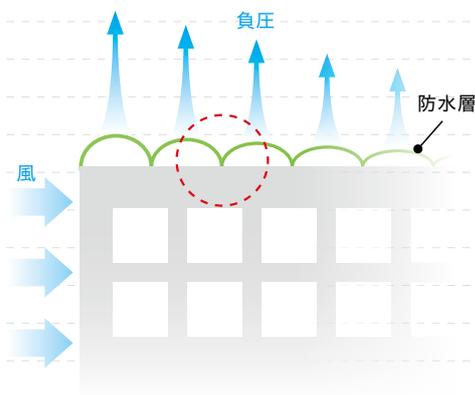
屋根面にかかる風圧力

屋上で風が吹いたときに、防水層を上へ引っ張る力が働きます。さらにその力は屋根面の部位によって強さが異なり、中央部<周辺部<コーナー部の順に風圧力は強くなります。したがって、部位によってアンカーの必要数が異なります。



屋根面の負圧差

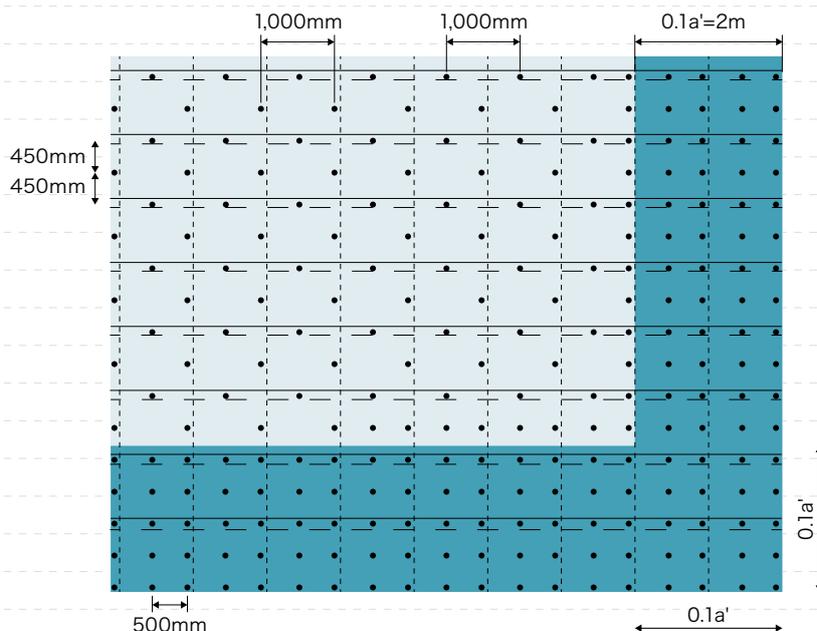
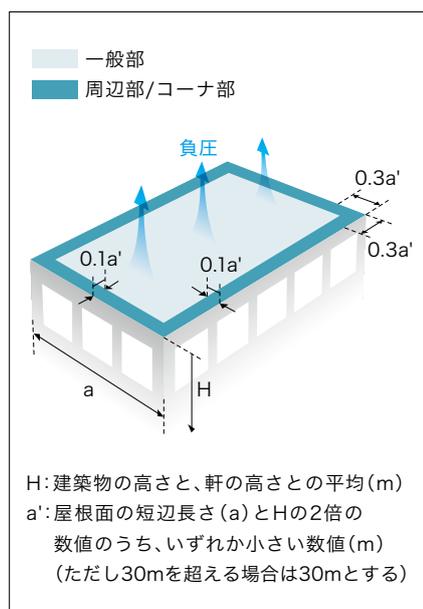
建築物に風が吹きつけると屋根面に風圧力(負圧)が発生します。負圧の力は、屋根面の場所によって異なります。



固定割付例

短辺方向長さ(a)=20mの場合(高さ10m)の固定割付は下図のようになります。

※コーナー部に対応する固定ピッチで周辺部を割付けた場合



基準風速の強い地域や海岸沿い、高層の建物など、強風にさらされる建物では風圧力が増加するため、十分な安全率が確保できない場合があります。

この場合は1m²あたりのディスク固定数を増やす必要がありますのでご相談ください。

耐風圧性の計算

建築基準法・建築基準法施行令(第82条の4)・告示(平12建告第1454号、1458号)「屋根ふき材および屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」に基づき、下記設定条件において耐風圧性能の計算をします。

1. 設定条件

耐風圧性を計算する際に標準的なモデルを設定します。

建物の高さ(H): 30m

建物の短辺方向の長さ(a): 50m

勾配: 1/100

地表面粗度区分: III(標準的な地域が該当)

その他: 都市計画地域内(一般的な市街地が該当)

2. 風圧力の計算方法

屋根にかかる風圧力は以下の計算式により、求められます。

$$W = q \times C_f$$

W: 風圧力(N/m²) q: 平均速度圧(N/m²)

C_f: ピーク風圧係数

平均速度圧は次式で求められます。

$$q = 0.6 \times E_r^2 \times V_o^2$$

E_r: 平均速度の高さ方向の分布を表す係数

V_o: 基準風速

基準風速は、全国の市町村単位で細かく分類し、その土地で吹く風の基準として、30~46mの8段階に分類されています。

ここでは、基準風速38mを用いて風圧力を計算します。

3. 風圧力の計算結果(風速 38m/s)

一般部	-2,123N/m ²
周辺部	-2,717N/m ²
コーナー部	-3,651N/m ²

オルタック機械的固定工法「安全率」

	風圧力の計算結果(A)	機械的固定工法の固定力		風速38m/sの場合の安全率(B÷A×100)
		ディスク個数	固定力(B)	
一般部	-2,123N/m ²	2.2/m ²	5,720N/m ²	269%
周辺部	-2,717N/m ²	4.4/m ²	11,440N/m ²	421%
コーナー部	-3,651N/m ²	4.4/m ²	11,440N/m ²	313%

以上の結果により、

安全率が200%以上確保されているので、オルタック機械的固定工法は十分な耐風圧性能を有しているといえます。

オルタック機械的固定工法の「固定力」

1. アンカーの引き抜き強度

試験方法: コンクリートブロック(圧縮強度24N/mm²)に各種アンカーを固定し、建研式引張試験器で引き抜き強度を測定しました。

	UPアンカー
埋め込み深さ	30mm
強度	5,560 N/本

2. ディスク固定部のシートの引き抜き破断強度試験方法

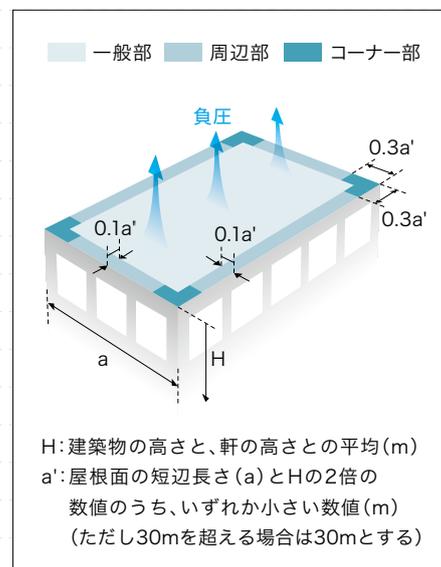
オルタックシートLGにディスクとアンカーを固定し、万能引張試験機でシートの引き抜き破断強度を測定しました。

試験条件: テストスピード100mm/min

測定温度: 20℃

引き抜き破断強度 N/1ヵ所	2,600
現象	シート破断

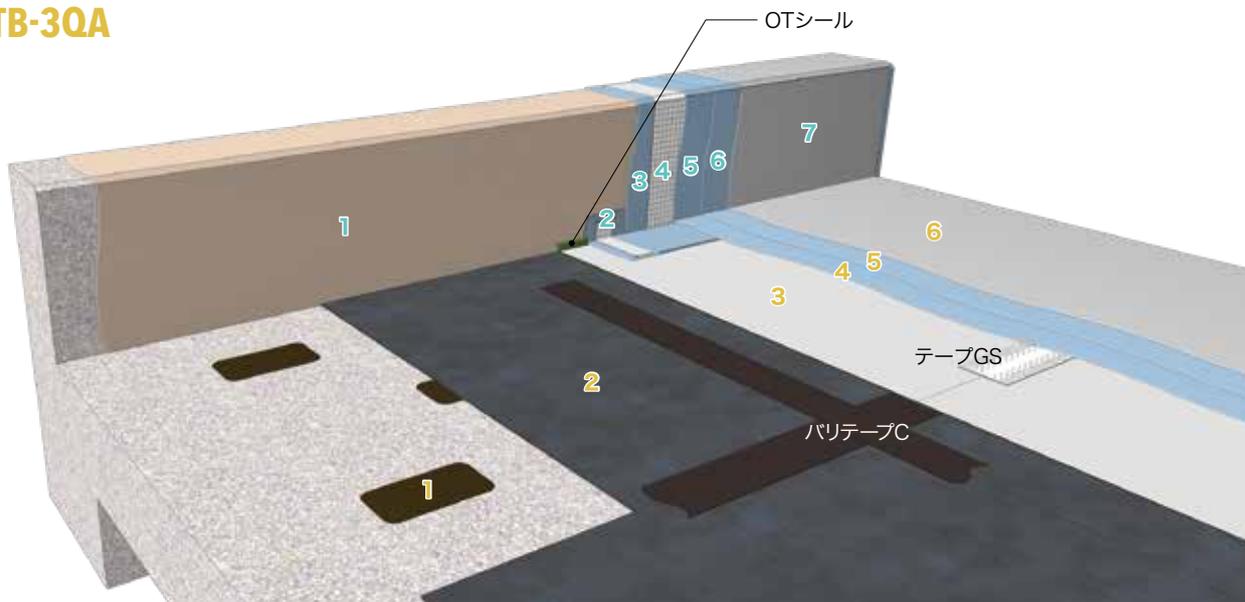
1、2の結果より**固定力=2,600N/ヵ所**とします



アスファルトパネル複合工法

特に傷んだり水分を多く含んだりした下地、タイル、ブロック等に専用パネルを貼付けて、工期短縮を図れる工法。

OSCTB-3QA



OSCTB-3QA



平面部		立上り部		(単位:/m ²)	
1	レイコーセメント 点貼り※1	0.5kg	1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	バリボードPS (ジョイント部 バリテープC貼り)	-	2	OTシール・入隅処理※2	-
3	オルタックシートGS (ジョイント部 テープGS貼り)	-	3	オルタックサンキュアT	0.3kg
4	オルタックサンキュアR	2.0kg	4	メッシュUB	-
5	オルタックサンキュアR	1.5kg	5	オルタックサンキュアT	1.7kg
6	速硬化OTコートA	0.2kg	6	オルタックサンキュアT	1.0kg
7	-	-	7	速硬化OTコートA	0.2kg

※1 下地の種類によって接着剤を変更する場合があります。

※2 入隅処理は、オルタックサンキュアT(0.3kg/m²)→メッシュUB→オルタックサンキュアT(0.7kg/m²)の3工程としてください。

注意事項

- ・気象条件や下地によって立上り部1工程目を使用するOTプライマーQQを変更する場合があります。詳しくは、27ページをご覧ください。
- ・保護塗料は速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については6ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性能を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(1セットに対して1箱)してください。防滑処理後でも、降雨などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

乾式下地処理材 アスファルトパネル バリボードPS

「バリボードPS」は、厚さ4mmのアスファルトパネルです。接着剤（レイコーセメント等）で貼付け、アスファルト系テープ（バリテープC）で目地貼りして新たな下地を作ります。

モルタルなどの養生が必要な湿式工法に比べ、早く確実に下地処理ができます。

押えコンクリート面だけでなく、ブロック面や膨れの多い露出アスファルト防水面にも使用できます。

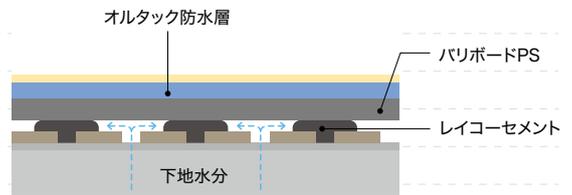


バリボードPSの特長

下地の湿気に強い

バリボードPSは点接着固定されるため、ボードと下地間には空隙が存在し、下地に残存する水分や湿気はこの空隙を容易に移動、拡散します。

脱気筒（ステンレスペーパスなど）を併用することで、下地水分が大気中に排出され、防水層は下地水分による影響を受けにくくなります。



工期短縮に貢献

既存下地の状況はさまざま。

状況に応じた下地処理方法にて対応する必要があります。

（下図は一般的な下地処理例）



亀裂部Uカットシール処理



下地樹脂モルタル塗り

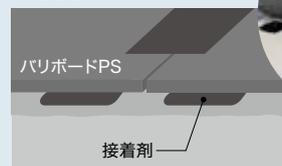


モルタル欠損部、
浮き部の処理

バリボードPSなら…

バリボードPSは、下地に接着剤で貼付けて目地をテープ貼りするだけ。防水に最適な下地を短期間で作り上げます。

アスファルトパネルによる
下地処理



タイル下地での施工手順



既存タイル下地



バリボードPS(アスファルトパネル)貼り



バリテープC貼り

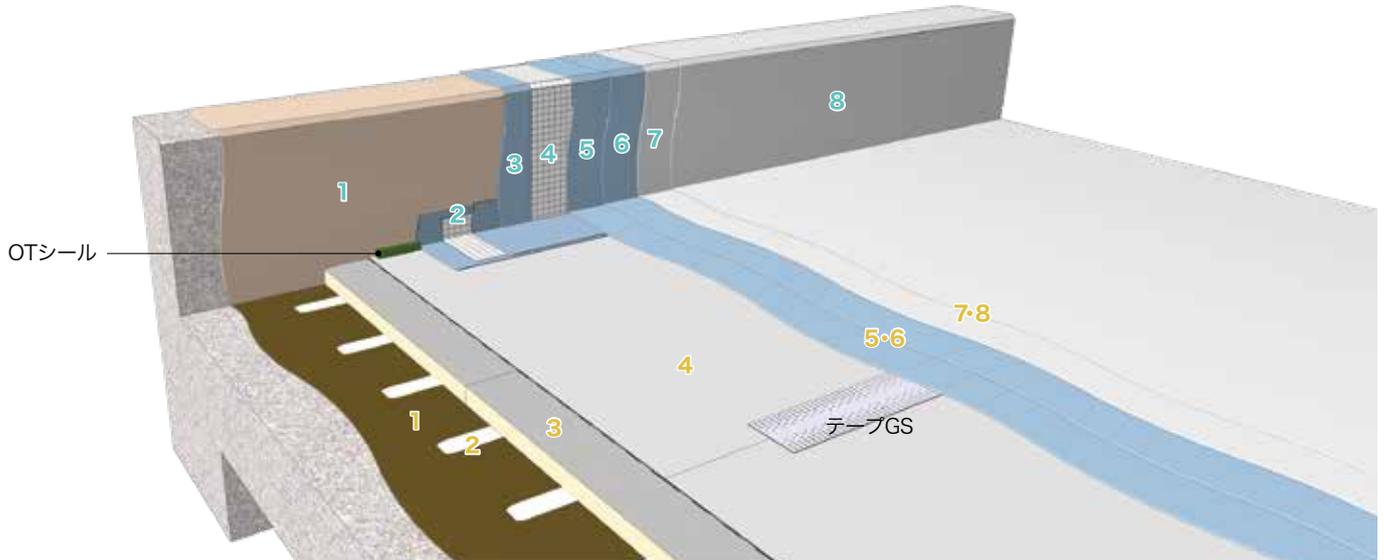


オルタックシート貼り

通気緩衝複合・断熱工法

屋内の断熱効果と建物の保護を目的とした工法

OSCTI-3SC



OSCTI-3SC



平面部		立上り部		(単位:/m ²)	
1	水性プライマーMS	0.2kg	1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	セメントMS 線貼り※1	0.6kg	2	OTシール・入隅処理※2	—
3	ギルフォーム(断熱材)	—	3	オルタックサンキュアT	0.3kg
4	オルタックシートGS (ジョイント部 テープGS貼り)	—	4	メッシュUB	—
5	オルタックサンキュアR	2.0kg	5	オルタックサンキュアT	1.7kg
6	オルタックサンキュアR	1.5kg	6	オルタックサンキュアT	1.0kg
7	OTコートシリコンクール	0.2kg	7	OTコートシリコンクール	0.2kg
8	OTコートシリコンクール	0.2kg	8	OTコートシリコンクール	0.2kg

※1 工程1・2の 水性プライマーMSとセメントMSの組合せに代えて、水性プライマーAS(0.2kg/m²)とレイコーセメント(0.8kg/m²)を使用できます。
改修時の断熱材用接着剤は下地状況によってVTエース(0.45kg/m²)の使用も可能です(VTエースとする場合は、断熱材をギルフォームからGIボードWに変更してください)。

※2 入隅処理は、オルタックサンキュアT(0.3kg/m²)→メッシュUB→オルタックサンキュアT(0.7kg/m²)の3工程としてください。

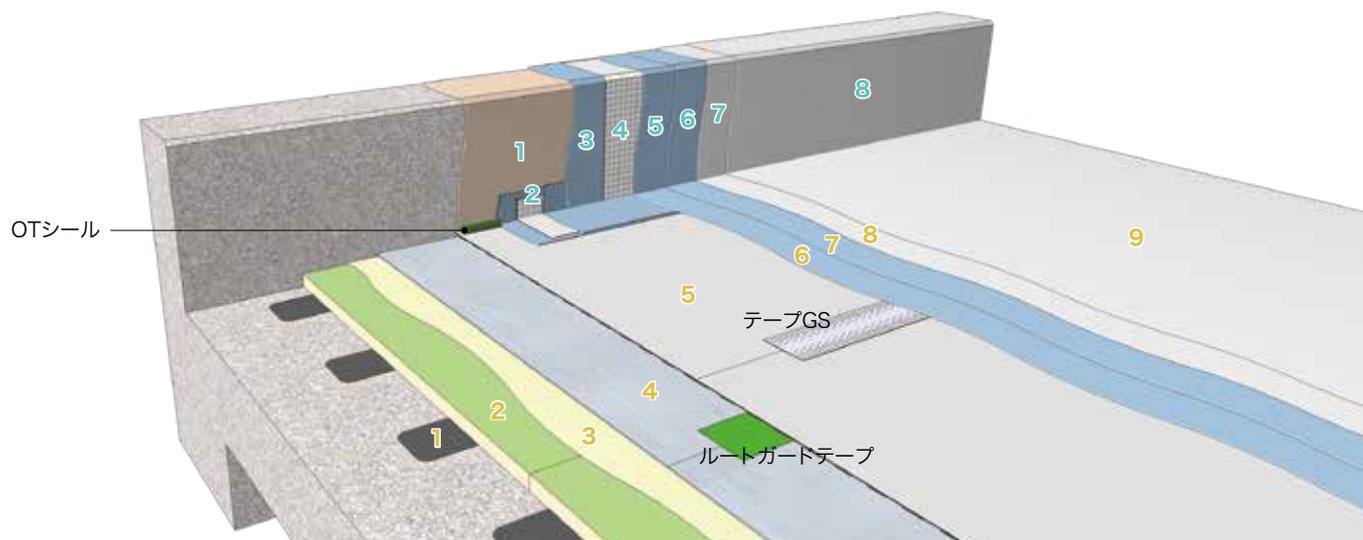
注意事項

- ・気象条件や下地によって立上り部1工程目を使用するOTプライマーQQを変更する場合があります。詳しくは、27ページをご覧ください。
- ・保護塗料はOTコートシリコンクールのほか、OTコートクール、SPサーモコート、SPスーパーサーモコートも選択できます。保護塗料により、仕様番号、設計価格が変わります。
- ・仕様番号については6ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。(OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(1セットに対して1箱)してください。防滑処理後でも、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

通気緩衝複合・断熱軽歩行工法(Kウォーク)

断熱材上に特殊樹脂ボードと通気緩衝複合シートを接着固定し、断熱と軽歩行を両立する工法

OSCTIK-3SC



OSCTIK-3SC



平面部		立上り部		(単位:/m ²)	
1	VTエース	0.45kg	1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	GIボードW(断熱材) ^{※1}	—	2	OTシール・入隅処理 ^{※2}	—
3	KF接着剤	0.35kg	3	オルタックサンキュアT	0.3kg
4	Kウォーク (ジョイント部 ルートガードテープ貼り)	—	4	メッシュUB	—
5	オルタックシートGS (ジョイント部 テープGS貼り)	—	5	オルタックサンキュアT	1.7kg
6	オルタックサンキュアR	2.0kg	6	オルタックサンキュアT	1.0kg
7	オルタックサンキュアR	1.5kg	7	OTコートシリコンクール	0.2kg
8	OTコートシリコンクール	0.2kg	8	OTコートシリコンクール	0.2kg
9	OTコートシリコンクール	0.2kg	9	—	—

^{※1} GIボードWに隙間・段差が発生した場合はルートガードテープにより処理します。

^{※2} 入隅処理は、オルタックサンキュアT(0.3kg/m²)→メッシュUB→オルタックサンキュアT(0.7kg/m²)の3工程としてください。

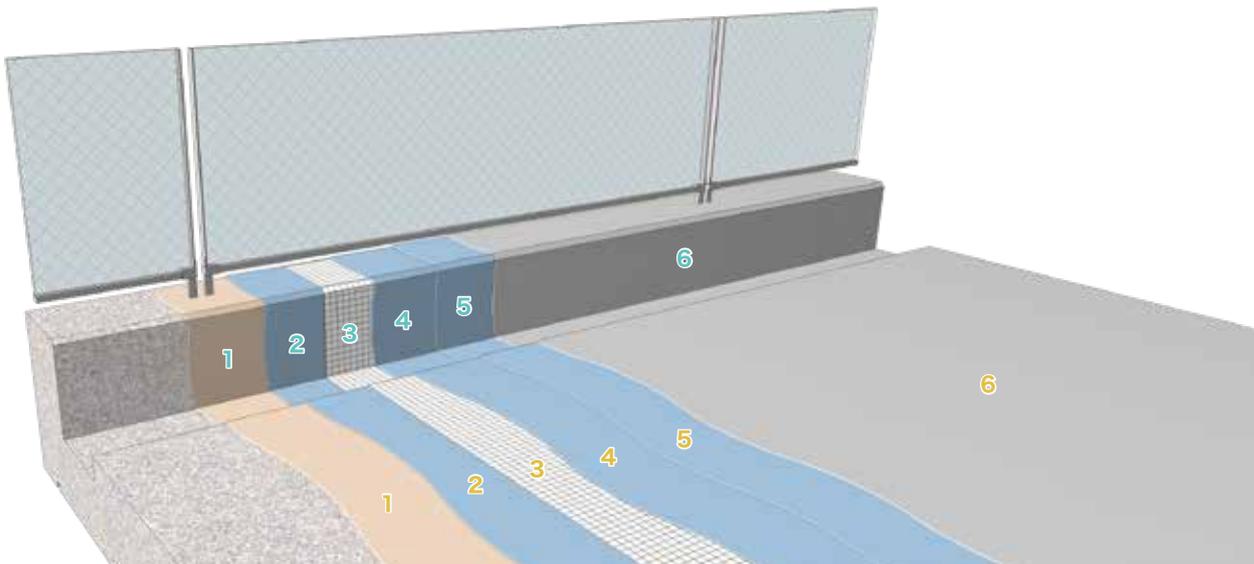
注意事項

- ・気象条件や下地によって立上り部1工程目使用するOTプライマーAを変更する場合があります。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・保護塗料は10年間塗り替え不要です。
- ・防滑性能を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(1セットに対して1箱)してください。防滑処理後でも、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。
- ・断熱材の厚さが50mmを超える場合はご相談ください。

密着工法

出入隅の多い屋上や、ベランダ・庇などの防水に適した工法。

OSCM-3QA



OSCM-3QA 補強メッシュ入り

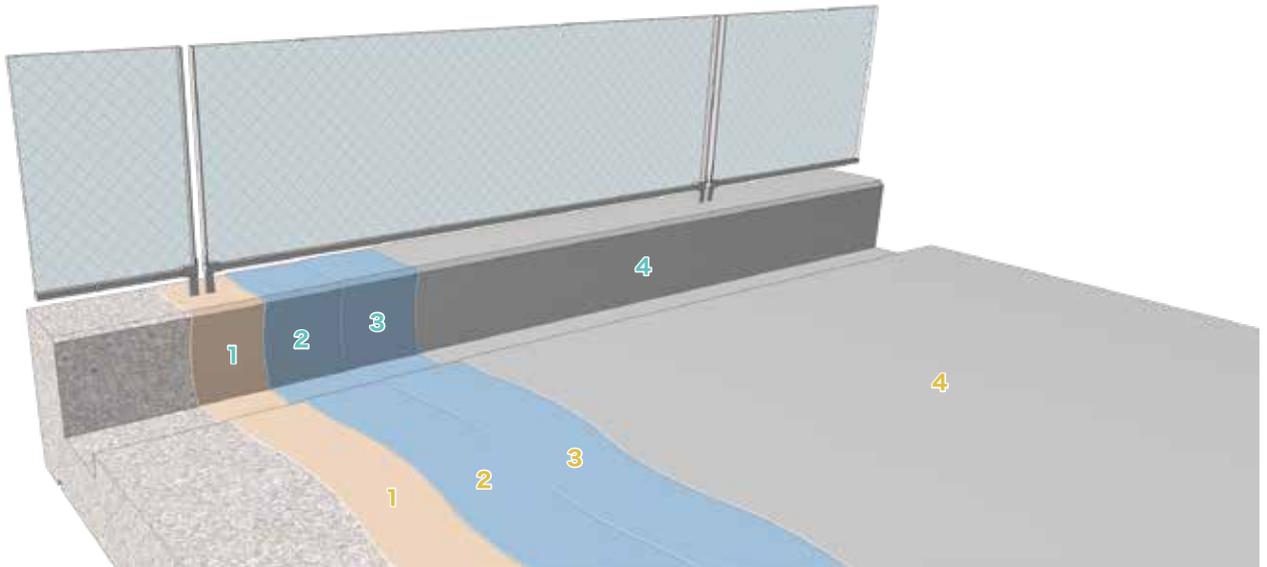


平面部		立上り部		(単位:/m ²)	
1	OTプライマー-QQ	0.2kg	1	OTプライマー-QQ	0.2kg
2	オルタックサンキュアR	0.3kg	2	オルタックサンキュアT	0.3kg
3	メッシュUB	-	3	メッシュUB	-
4	オルタックサンキュアR	1.7kg	4	オルタックサンキュアT	1.7kg
5	オルタックサンキュアR	1.5kg	5	オルタックサンキュアT	1.0kg
6	速硬化OTコートA	0.2kg	6	速硬化OTコートA	0.2kg

注意事項

- ・気象条件や下地によって1工程目に使用するOTプライマー-QQを変更する場合があります。既存がウレタン防水の増塗りの場合は、速硬化OTプライマー-Mブルーを選択してください。詳しくは27ページをご覧ください。
- ・保護塗料は速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については6ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(最大1セットに対して1箱)してください。防滑処理後でも、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

OSCL-6QA



OSCL-6QA メッシュなし



平面部		立上り部 (単位:/m ²)	
1	OTプライマー-QQ 0.2kg	1	OTプライマー-QQ 0.2kg
2	オルタックサンキュアR 2.0kg	2	オルタックサンキュアT 1.5kg
3	オルタックサンキュアR 1.0kg	3	オルタックサンキュアT 1.0kg
4	速硬化OTコートA 0.2kg	4	速硬化OTコートA 0.2kg

※立上り高さの低いベランダの巾木側溝立上り部分は、オルタックサンキュアTに代えて、オルタックサンキュアHSを用いることもできます。

OSCL-8QA メッシュなし



平面部		立上り部 (単位:/m ²)	
1	OTプライマー-QQ 0.2kg	1	OTプライマー-QQ 0.2kg
2	オルタックサンキュアR 1.5kg	2	オルタックサンキュアT 1.5kg
3	オルタックサンキュアR 1.0kg	3	オルタックサンキュアT 1.0kg
4	速硬化OTコートA 0.2kg	4	速硬化OTコートA 0.2kg

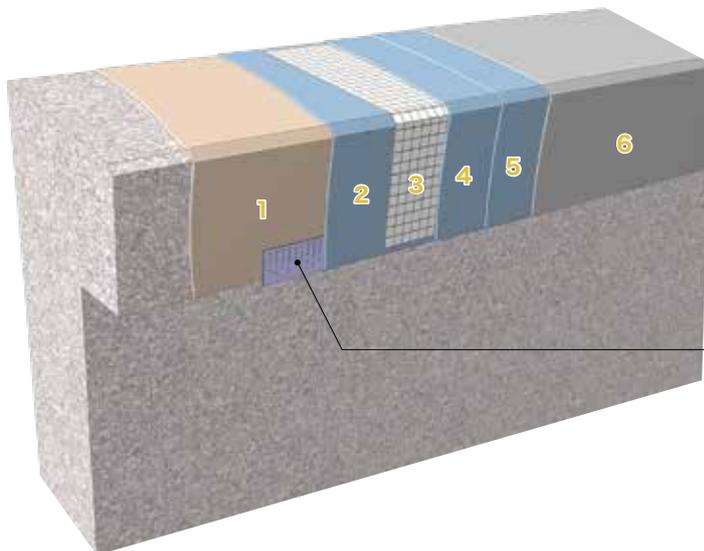
注意事項

- ・気象条件や下地によって1工程目に使用するOTプライマー-QQを変更する場合があります。既存がウレタン防水の増塗りの場合は、速硬化OTプライマー-Mブルーを選択してください。詳しくは27ページをご覧ください。
- ・保護塗料は速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については6ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)
- ・防滑性を求める場合には、UチップまたはMチップを保護塗料に添加(最大1セットに対して1箱)してください。
防滑処理後でも、降雨などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。
- ・OSCL-6QA、OSCL-8QAは屋上には適用できません。

密着工法 パラペット・笠木用

パラペット、笠木などに用いる工法。

OSCPM-8QA



オルタックアゴテープ
(価格別途)

OSCPM-8QA 補強メッシュ入り



		(単位:/m ²)
1	OTプライマー-QQ	0.2kg
2	オルタックサンキュアT	0.3kg
3	メッシュUB	-
4	オルタックサンキュアT	1.2kg
5	オルタックサンキュアT	1.0kg
6	速硬化OTコートA	0.2kg

OSCPL-8QA メッシュなし



		(単位:/m ²)
1	OTプライマー-QQ	0.2kg
2	オルタックサンキュアT	1.5kg
3	オルタックサンキュアT	1.0kg
4	速硬化OTコートA	0.2kg

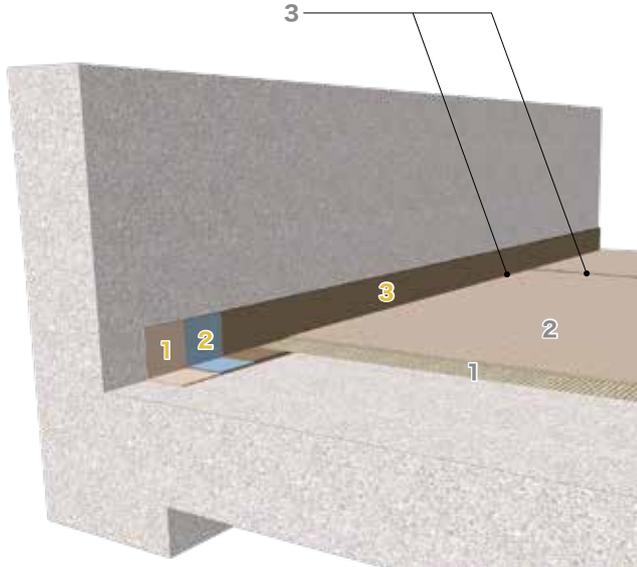
注意事項

- ・気象条件や下地によって1工程目に使用するOTプライマー-QQを変更する場合があります。既存がウレタン防水の増塗りの場合は、速硬化OTプライマー-Mブルーを選択してください。詳しくは27ページをご覧ください。
- ・保護塗料は速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については6ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下)
- ・一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度毎に塗布することをおすすめします。
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)

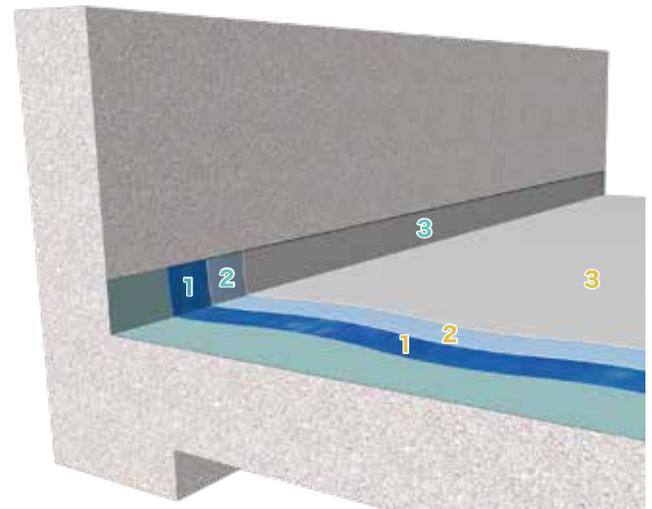
密着工法 巾木・側溝用／増塗り工法用

共用廊下、ベランダなどの巾木・側溝部に適した工法。／ベランダ、庇などのウレタン防水下地の増塗りに適した工法。

OSCVP-2QA



OSCL-2QA



OSCVP-2QA メッシュなし



巾木・側溝部		(単位:/m ²)
1	OTプライマー-QQ	0.2kg
2	オルタックサンキュアHS※1	2.0kg
3	速硬化OTコートA	0.2kg

※1オルタックサンキュアHSは、数回に分けて塗布する場合があります。

床面推奨仕様: 防滑性ビニル床シート仕様		(単位:/m ²)
1	セメントVG	0.3~0.36kg
2	ビュージスタ	-
3	端末:VGシールMS ジョイント:ビュージスタ溶接棒	-

※防滑性ビニル床シート「ビュージスタ」に関する詳細については「ビュージスタ」のカタログをご参照ください。

OSCL-2QA メッシュなし



平面部		立上り部		(単位:/m ²)	
1	速硬化OTプライマー Mブルー	0.1kg	1	速硬化OTプライマー Mブルー	0.1kg
2	オルタックサンキュアR	2.0kg	2	オルタックサンキュアT※1	2.0kg
3	速硬化OTコートA	0.2kg	3	速硬化OTコートA	0.2kg

※既存がウレタン防水のベランダ増塗りのみの仕様です。
※1オルタックサンキュアTは、数回に分けて塗布する場合があります。

注意事項

- ・気象条件や下地によって1工程目に使用するOTプライマー-QQを変更する場合があります。既存がウレタン防水の増塗りの場合は、速硬化OTプライマー-Mブルーを選択してください。詳しくは27ページをご覧ください。
- ・保護塗料は速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については6ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度毎に塗布することをおすすめします。(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)

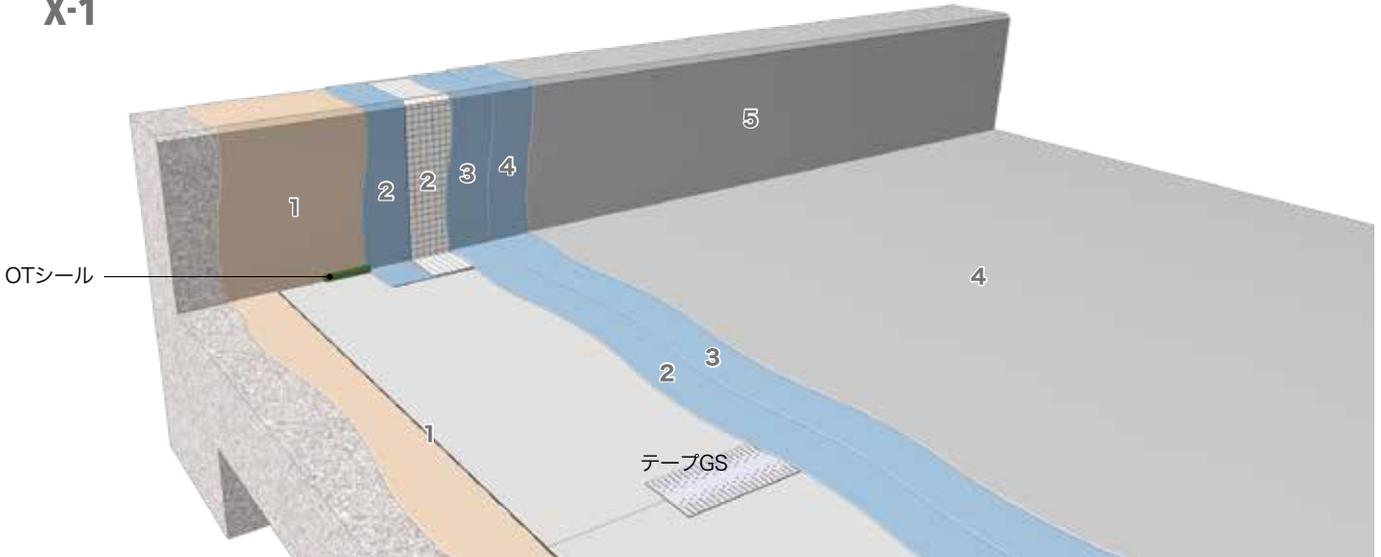
官公庁仕様

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

【公共建築工事標準仕様書 令和4年版 9章 防水工事】

【公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版 3章 防水改修工事】

X-1



X-1

(単位:/m²)

X-1		オルタックサンキュア仕様 X-1 平面部		
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り※2	0.3kg	OTプライマー-QQ※1 オルタックシートGS(ジョイント部 テープGS貼り)	0.2kg
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り*	3.0kg	オルタックサンキュアR	1.8kg
3			オルタックサンキュアR	1.8kg
4	仕上げ塗料塗り※3	-	速硬化OTコートA	0.2kg

※POXの場合は、出入隅の補強布貼りが必要です。

X-2

(単位:/m²)

X-2		オルタックサンキュア仕様 X-2 平面部		オルタックサンキュア仕様 X-2 立上り		
1	プライマー塗り	0.2kg	OTプライマー-QQ※1	0.2kg	OTプライマー-QQ※1	0.2kg
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り* 補強布張り	0.3kg	オルタックサンキュアR メッシュUB※4	0.4kg	オルタックサンキュアT メッシュUB※4	0.4kg
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り*	2.7kg (1.7kg)	オルタックサンキュアR	1.8kg	オルタックサンキュアT	1.2kg
4			オルタックサンキュアR	1.4kg	オルタックサンキュアT	1.0kg
5	仕上げ塗料塗り※3	-	速硬化OTコートA	0.2kg	速硬化OTコートA	0.2kg

注意事項

* 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合にあっては所用塗膜厚を確保するように使用量を換算します(硬化物比重は右ページを参照)。X-1の立上りはX-2の立上りを適用します。また、X-2の立上りの3、4工程の使用量は()内となります。

※1 気象条件や下地によってプライマーを変更する場合があります。詳しくは27ページをご覧ください。

※2 接着剤以外による通気緩衝用シートの張付け方法は、主材料製造所の仕様によります。

※3 仕上げ塗料の種類および使用量は特記によります。速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は、設計価格が変わります。

※4 補強布はメッシュUBの代わりに、メッシュUBソフトを用いることもできます。

都市再生機構仕様 (UR都市機構)

【 保全工事共通仕様書 令和2年版 】

脱気絶縁複合防水工事 (歩行用・軽歩行用)

脱気絶縁複合防水 (歩行用ウレタンゴム系全面修繕1回目)

(単位: /m²)

脱気絶縁部 (平面部)			オルタックサンキュア仕様 平面部	
1	接着剤	0.2kg以上	OTプライマーA	0.2kg以上
	プライマー (注)1	0.15kg以上		
2	通気緩衝シート (注)1,2,3	—	オルタックシートWS	—
3	ウレタンゴム系塗膜防水材 (注)4	1.5kg	オルタックサンキュアR	1.8kg
4	ウレタンゴム系塗膜防水材 (注)4	1.5kg	オルタックサンキュアR	1.8kg
5	層間プライマー	0.1kg以上	速硬化OTプライマーMブルー	0.1kg以上
6	無機質系防水保護塗料 (注)5	1.0kg以上	SPミネラルコート	1.0kg以上

(注)1: 工程1のプライマーは、工程2に自己接着型の通気緩衝シートを使用する場合に用います。

(注)2: 工程2の通気緩衝シートは、ポリマー改質アスファルトシートまたはゴムシートとし、合成繊維不織布を使用する場合は、ウレタン防水材の塗布量を4.5kg以上とし、塗膜防水材の塗布工程を3工程に分けて塗布します。

(注)3: 工程2の通気緩衝シートは、脱気機能を有するものとします。

(注)4: 工程3,4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m³である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以上の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算します。

(注)5: 工程6の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができます。

(単位: /m²)

庇、架台天端および立上り部			オルタックサンキュア仕様	
1	プライマー	0.2kg以上	OTプライマーA	0.2kg以上
2	ウレタンゴム系塗膜防水材 (立上り用) (注)1	0.5kg	オルタックサンキュアT	0.5kg
3	補強布	1.1m	メッシュUB	—
4	ウレタンゴム系塗膜防水材 (立上り用) (注)1	1.0kg	オルタックサンキュアT	1.4kg
5	ウレタンゴム系塗膜防水材 (立上り用) (注)1	1.0kg	オルタックサンキュアT	1.4kg
6	層間プライマー	0.1kg以上	速硬化OTプライマーMブルー	0.1kg以上
7	無機質系防水保護塗料 (注)2	1.0kg以上	SPミネラルコート	1.0kg以上

(注)1: 工程2,4,5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m³である材料を示しており、硬化物密度がこれ以上の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算します。

(注)2: 工程7の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができます。

バルコニー等床防水工事

ウレタンゴム系塗膜防水工法 (全面修繕1回目)

ウレタンゴム系塗膜防水工法 (全面修繕2回目)

(単位: /m²)

ウレタンゴム系塗膜防水工法修繕 (バルコニー等床)		オルタックサンキュア仕様		ウレタンゴム系塗膜防水工法修繕 (バルコニー等床)		オルタックサンキュア仕様	
1	プライマー 0.15~0.25kg	OTプライマーA	0.2kg	1	プライマー 0.1~0.2kg	速硬化OTプライマーMブルー	0.1kg
2	ウレタンゴム系塗膜防水材 (注)1 2.0kg	オルタックサンキュアR	2.4kg	2	ウレタンゴム系塗膜防水材 (注)1 1.5kg	オルタックサンキュアR	1.8kg
3	仕上塗料 (注)2,3 0.2kg	OTコートA	0.2kg	3	仕上塗料 (注)2,3 0.2kg	OTコートA	0.2kg

(注)1: 工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m³である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以上の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算します。

(注)2: 工程3の平場部における骨材使用量は製造所の仕様によります。

(注)3: 仕上塗料は性状により工程を増やすことができます。

硬化物比重	オルタックサンキュアR	1.2	オルタックサンキュアT	1.3
-------	-------------	-----	-------------	-----

自動混合・圧送システムOSS

OSS(オルタックサプライシステム)により、屋上やバルコニーにウレタン塗膜防水材料を直接圧送する工法。

OSCW-3QA-OSS

平面部		(単位:/m ²)
1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	オルタックシートGS (ジョイント部 テープGS)	-
3	オルタックサンキュア500	2.0kg
4	オルタックサンキュア500	1.5kg
5	速硬化OTコートA	0.2kg

OSCSL-3QA-OSS

平面部		(単位:/m ²)
1	オルタックシートLG	-
2	ASディスク・UPアンカー	2.2カ所
3	オルタックLGパッチ・オルタックテープ マルチ・オルタックサンキュアT増塗り	-
4	オルタックサンキュア500	2.0kg
5	オルタックサンキュア500	1.5kg
6	速硬化OTコートA	0.2kg

OSCM-3QA-OSS

補強メッシュ入り

平面部		(単位:/m ²)
1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	オルタックサンキュアR	0.3kg
3	メッシュUB	-
4	オルタックサンキュア500	1.7kg
5	オルタックサンキュア500	1.5kg
6	速硬化OTコートA	0.2kg

OSCL-6QA-OSS

メッシュなし

平面部		(単位:/m ²)
1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	オルタックサンキュア500	2.0kg
3	オルタックサンキュア500	1.0kg
4	速硬化OTコートA	0.2kg

OSCL-8QA-OSS

メッシュなし

平面部		(単位:/m ²)
1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	オルタックサンキュア500	1.5kg
3	オルタックサンキュア500	1.0kg
4	速硬化OTコートA	0.2kg

OSCL-2QA-OSS

メッシュなし

平面部		(単位:/m ²)
1	速硬化OTプライマー Mブルー	0.1kg
2	オルタックサンキュア500	2.0kg
3	速硬化OTコートA	0.2kg

※既存がウレタン防水のベランダ増塗りのみの仕様です。

OSS 立上り部例

※立上り部の工程については、オルタックサンキュアの各標準仕様の立上り仕様のほか、オルタックエースの立上り仕様も採用できます。

オルタックサンキュア

OSCW-3QA

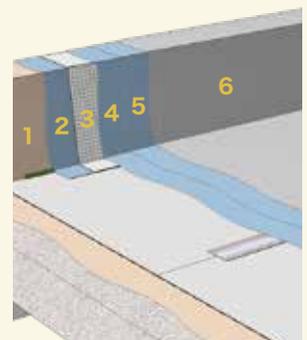
立上り部		(単位:/m ²)
1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	オルタックサンキュアT	0.3kg
3	メッシュUB	-
4	オルタックサンキュアT	1.7kg
5	オルタックサンキュアT	1.0kg
6	速硬化OTコートA	0.2kg

オルタックエース

OATW-3QA

立上り部		(単位:/m ²)
1	OTプライマーQQ	0.2kg
2	立上り用オルタックエース	0.3kg
3	メッシュUB	-
4	立上り用オルタックエース	1.7kg
5	立上り用オルタックエース	1.0kg
6	速硬化OTコートA	0.2kg

※立上り用オルタックエースとオルタックサンキュア500の塗り重ねには仲介プライマーは不要です。(28ページ参照)



注意事項

- ・工程の詳細は、各仕様番号の標準仕様ページをご覧ください。
- ・気象条件や下地によって1工程目使用するプライマーを変更する場合があります。詳しくは27ページをご覧ください。
- ・保護塗料は速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は仕様番号、設計価格が変わります。仕様番号については6ページを、設計価格については別紙設計価格表をご覧ください。
- ・気象条件によりウレタン防水材料を減粘させる場合は、必ず専用減粘材の「アジャストE」をご使用ください。(5%以下) 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- ・防水層を長持ちさせるために保護塗料を7年程度毎に塗布することをおすすめします。
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクール、OTコートフッ素、OTコートフッ素クールは10年間塗り替え不要)

官公庁仕様 オルタックサンキュア500(OSS)仕様

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

【公共建築工事標準仕様書 令和4年版 9章 防水工事】

【公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版 3章 防水改修工事】

X-1 (OSS仕様)

(単位: /m²)

X-1		X-1 平面部	
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り※2	0.3kg	OTプライマーQQ※1 オルタックシートGS
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り*	3.0kg	オルタックサンキュア500
3			オルタックサンキュア500
4	仕上げ塗料塗り※3	-	速硬化OTコートA

X-2 (OSS仕様)

(単位: /m²)

X-2		X-2 平面部	
1	プライマー塗り	0.2kg	OTプライマーQQ※1
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り* 補強布張り	0.3kg	オルタックサンキュアR メッシュUB※4
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り*	2.7kg (1.7kg)	オルタックサンキュア500
4			オルタックサンキュア500
5	仕上げ塗料塗り※3	-	速硬化OTコートA

硬化物比重	オルタックサンキュアR	1.2	オルタックサンキュアT	1.3	オルタックサンキュア500/50	1.3
-------	-------------	-----	-------------	-----	------------------	-----

注意事項

* 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合にあっては所用塗膜厚を確保するように使用量を換算します。X-1の立上りはX-2の立上りを適用します。また、X-2の立上りの3、4工程の使用量は()内となります。

※1 気象条件や下地によってプライマーを変更する場合があります。詳しくは29ページをご覧ください。

※2 接着剤以外による通気緩衝用シートの張付け方法は、主材料製造所の仕様によります。

※3 仕上げ塗料の種類および使用量は特記によります。速硬化OTコートAのほか、各種保護塗料が選択できます。他の保護塗料を選択する場合は、設計価格が変わります。

※4 補強布はメッシュUBの代わりに、メッシュUBソフトを用いることもできます。

都市再生機構仕様(UR都市機構) オルタックサンキュア500(OSS)仕様

【 保全工事共通仕様書 令和2年版 】

脱気絶縁複合防水工事(歩行用・軽歩行用)

脱気絶縁複合防水(歩行用ウレタンゴム系全面修繕1回目)

(単位:/m²)

脱気絶縁部(平面部)		オルタックサンキュアOSS仕様 平面部	
1	接着剤	0.2kg以上	OTプライマーA
	プライマー(注)1	0.15kg以上	
2	通気緩衝シート(注)1,2,3	-	オルタックシートWS (ジョイント部 オルタックテープW)
3	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)4	1.5kg	オルタックサンキュア500
4	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)4	1.5kg	オルタックサンキュア500
5	層間プライマー	0.1kg以上	速硬化OTプライマーMブルー
6	無機質系防水保護塗料(注)5	1.0kg以上	SPミネラコート

(注)1:工程1のプライマーは、工程2に自己接着型の通気緩衝シートを使用する場合に用います。

(注)2:工程2の通気緩衝シートは、ポリマー改質アスファルトシートまたはゴムシートとし、合成繊維不織布を使用する場合は、ウレタン防水材の塗布量を4.5kg以上とし、塗膜防水材の塗布工程を3工程に分けて塗布します。

(注)3:工程2の通気緩衝シートは、脱気機能を有するものとします。

(注)4:工程3,4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m³である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以上の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算します。

(注)5:工程6の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができます。

(単位:/m²)

庇、架台天端および立上り部		オルタックサンキュア仕様	
1	プライマー	0.2kg以上	OTプライマーA
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用)(注)1	0.5kg	オルタックサンキュアT
3	補強布	1.1m	メッシュUB
4	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用)(注)1	1.0kg	オルタックサンキュアT
5	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用)(注)1	1.0kg	オルタックサンキュアT
6	層間プライマー	0.1kg以上	速硬化OTプライマーMブルー
7	無機質系防水保護塗料(注)2	1.0kg以上	SPミネラコート

(注)1:工程2,4,5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m³である材料を示しており、硬化物密度がこれ以上の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算します。

(注)2:工程7の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができます。

バルコニー等床防水工事

ウレタンゴム系塗膜防水工法(全面修繕1回目)

ウレタンゴム系塗膜防水工法(全面修繕2回目)

(単位:/m²)

ウレタンゴム系塗膜防水工法修繕(バルコニー等床)		オルタックサンキュアOSS仕様		ウレタンゴム系塗膜防水工法修繕(バルコニー等床)		オルタックサンキュアOSS仕様	
1	プライマー	0.15~0.25kg	OTプライマーA	0.2kg	1	プライマー	0.1~0.2kg
						速硬化OTプライマーMブルー	0.1kg
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1	2.0kg	オルタックサンキュア500	2.6kg	2	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1	1.5kg
						オルタックサンキュア500	2.0kg
3	仕上塗料(注)2,3	0.2kg	OTコートA	0.2kg	3	仕上塗料(注)2,3	0.2kg
						OTコートA	0.2kg

(注)1:工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m³である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以上の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算します。

(注)2:工程3の平場部における骨材使用量は製造所の仕様によります。

(注)3:仕上塗料は性状により工程を増やすことができます。

硬化物比重	オルタックサンキュアR	1.2	オルタックサンキュアT	1.3	オルタックサンキュア500/50	1.3
-------	-------------	-----	-------------	-----	------------------	-----

環境対応について

オルタックサンキュアは特定化学物質障害予防規則に該当していません

特定化学物質障害予防規則

労働安全衛生法に基づき、特定化学物質の安全基準を定めた厚生労働省令です。

特定化学物質を日常的に取扱う作業者の健康障害を発生させる可能性が高い物質として労働安全衛生法施行令で定められているものであり、特定化学物質障害予防規則の適用を受ける材料は作業主任者の選任などの措置を行うことが求められます。

オルタックサンキュアは特定化学物質障害予防規則に該当しない製品です。

オルタックサンキュアは厚生労働省、文部科学省などでシックハウス(室内空気汚染)の原因として指定されている物質を含有していません

厚生労働省がシックハウス問題に関する検討会で、濃度指針値を策定した物質

化学物質	室内濃度指針値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	オルタックサンキュア
ホルムアルデヒド	100	無配合
トルエン	260	無配合
キシレン	200	無配合
エチルベンゼン	3800	無配合
スチレン	220	無配合
フタル酸ジ-n-ブチル	17	無配合
テトラデカン	330	無配合
アセトアルデヒド	48	無配合
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100	無配合
パラジクロロベンゼン	240	無配合
ダイアジノン	0.29	無配合
フェノブカルブ	33	無配合
クロルピリホス	1	無配合

(2023年5月現在)

※ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンは文部科学省「学校環境衛生基準」の測定対象物質に該当。

※ホルムアルデヒド、クロルピリホスは、国土交通省「建築基準法」の規制対象物質に該当。

シックハウスに関わる室内濃度指針値

新築時やリフォーム時に使用された建材や内装材が含有する化学物質によって室内空気が汚染され、頭痛や吐き気などの症状を引き起こすことをシックハウス症候群と言い、学校や保育園でこのような症状が発生するとシックスクールと呼ばれます。

厚生労働省では平成12年4月よりシックハウス(室内空気汚染)問題に関する検討会が開催され、有害物質についてのガイドラインが話し合われており、現在までに13の有害物質の濃度指針値を定めています。オルタックサンキュアの材料ではこれら13物質を使用しておりません。

学校環境衛生基準

学校保健安全法の規定に基づいて定められた基準で、学校における環境衛生管理の徹底を目的としているものです。

教室等の環境に係わる基準として、空気中の揮発有機化合物を検査する項目が定められており、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレンについて、1年に1回検査することとしています。濃度の基準は、厚生労働省の室内濃度指針値と同値を採用しています。

オルタックサンキュアはシックハウスの対応において最高評価のF☆☆☆☆を取得しています

F☆☆☆☆

シックハウスへの対応として平成15年に建築基準法が改定され、第28条の規定に基づき「居室の内装仕上げ」に対して建築材料の使用制限が定められました。規制対象としてクロルピリホス(主な用途:白蟻駆除剤)の使用が禁止され、ホルムアルデヒドは放散速度により4段階※が設けられました。

オルタックサンキュアの材料は、日本ウレタン建材工業会の自主規制申請登録制度により、最高等級であるF☆☆☆☆表示の認定を受けています。

※無等級・F☆☆・F☆☆☆・F☆☆☆☆の4段階。☆の数により使用面積が制限されており、☆が多いほど広い面積に使用することができます。

材料の組合せ

下地・プライマーの適用表

下地	プライマー	プライマー							
		OTプライマー-QQ	OTプライマー-A	速硬化OTプライマー-Mブルー*1	OTプライマー-水系18	VTプライマー	プライマー-BP	プライマー-PG	水性プライマー-AS
下地の種類	コンクリートモルタル	○	○	×	○	○*2	×	×	○
	ウレタン防水	×	×	○	×	×	×	×	×
	塩ビシート防水	×	×	×	×	○*3	×	×	×
	加硫ゴム系シート防水	×	×	×	×	×	×	○*4	—*5
	ステンレス板	×	×	×	×	×	○	×	×
	銅	×	×	×	×	×	○	×	×
	アルミ板	×	×	×	×	×	○	×	×
	鉛板	×	×	×	×	×	○	×	×
	ガルバリウム鋼板	×	×	×	×	×	○	×	×
	FRP	○*6	○*6	○*6	×	×	×	×	—*7

- * 下地の乾燥を確認し、塵埃・油分等は除去してください。下地の材質によっては、サンディングや接着試験が必要な場合もあります。
- * 既存シート防水の上に施工する場合は、既存シートと下地との接着性を必ず確認してください。
- *1 速硬化OTプライマー-Mブルーの塗布量は0.1kg/m²です。
- *2 VTプライマー(0.1kg/m²)を2回塗りしてください。
- *3 下地が塩ビシート防水「ビュートップ」の場合は、VTプライマー(0.1kg/m²) + 速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg/m²)の2層塗りとします。VTプライマー(0.1kg/m²)の2回塗りも適用可能です。下地塩ビシートが「ビュートップ」以外の場合は、接着試験を行ってください。
- *4 新規に施工された加硫ゴム系シート層への接着性を示しています。既存加硫ゴム系シート上に施工する場合は、必ず事前の接着試験を行ってください。
- *5 既存加硫ゴム系シートの上に通気緩衝シートの施工を検討する場合は、弊社営業担当にご相談ください。
- *6 必ず接着試験を行ってください。接着試験の結果や既存FRPの状況(剥離や割れなど)によって採用できないケースがあります。
- *7 既存FRPの上に通気緩衝シートの施工を検討する場合は弊社営業担当にご相談ください。

プライマー・防水材の適用表

プライマー	防水材	防水材				
		オルタックサンキュアR	オルタックサンキュアT	オルタックサンキュアHS	オルタックサンキュア500/50	オルタックシートGS/GA
プライマー	OTプライマー-QQ	○	○	○	○	○
	OTプライマー-A	○	○	○	○	○
	速硬化OTプライマー-Mブルー	○	○	○	○	○
	OTプライマー-水系18	○	○	○	○	×
	VTプライマー*1	○	○	○	○	×
	プライマー-BP	○	○	○	○	×
	プライマー-PG	○	○	○	○	—*2
	水性プライマー-AS	×	×	×	×	○
	水性プライマー-MS	×	×	×	×	○

- * 防水材の塗り重ねは、29ページ「プライマーの乾燥・硬化時間」の表中「上塗り材施工可能時間」以内に完了してください。時間を過ぎた場合は、そのままプライマーを塗り重ねず、必ず目荒し・清掃してから速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。(水性プライマー-ASを除く)
- *1 VTプライマー(0.1kg/m²)を2回塗りしてください。
- *2 既存加硫ゴム系シートの上に通気緩衝シートの施工を検討する場合は、弊社営業担当にご相談ください。

防水材・保護塗料の適用について

- ・保護塗料 OTコートA/速硬化OTコートA/OTコートクール/OTコートシリコン/速硬化OTコートシリコン/OTコートシリコンクール/OTコートフッ素/OTコート水系/OTコート防カビ、OTコートシリコン防カビは、全てオルタックサンキュア類に塗り重ねできます。
- ・SPミネラコート、SPサーモコートは、速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg/m²)を塗布することで、オルタックサンキュア類に塗り重ねできます。
- ・保護塗料の塗布は29ページ「ウレタン防水材の乾燥・硬化時間」の表中「上塗り材施工可能時間」以内に完了してください。時間を過ぎた場合は、塵埃等を除去して速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。

防水材の塗り重ね

防水材の塗り重ね

上塗り 下塗り		オルタックサンキュア				オルタックエース					GO-JIN				オルタック スプレー
		オル タック サン キュア R	オル タック サン キュア T	オル タック サン キュア HS	オル タック サン キュア 500/50	オル タック エース	オル タック エース UC	オル タック エース VR	立 上 り 用 オル タック エース	巾 木 ・ 側 溝 用 オル タック エース	GO- JIN V	GO- JIN T	GO- JIN HS	GO- JIN 500/50	オル タック ス プ レ ー FF
オル タック サン キュア	オルタックサンキュアR	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オルタックサンキュアT	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オルタックサンキュアHS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オルタックサンキュア 500/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オル タック エース	オルタックエース	○	○	○	M	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オルタックエースUC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オルタックエースVR	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	立上り用オルタックエース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	巾木・側溝用 オルタックエース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
GO- JIN	GO-JIN V	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	GO-JIN T	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	GO-JIN HS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	GO-JIN 500/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オル タック ス プ レ ー	オルタックスプレーFF	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	○	

※ 防水材の塗り重ねは29ページ「ウレタン防水材の乾燥・硬化時間」の表中「上塗り材施工可能時間」以内に完了してください。

時間を過ぎた場合は、塵埃等を除去して速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。

※ オルタックエース、オルタックスプレーとの塗り重ねには、速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。

表の見方

○:左列の下地・材料にそのまま上行の材料を塗り重ねできます。

×:塗り重ねができません。

M:OTプライマーMまたは速硬化OTプライマーMブルーを塗布することで、塗り重ねができます。(0.1kg/m²)

—:弊社営業担当にお問合せください。

材料の乾燥・硬化時間

プライマーの乾燥・硬化時間

品名	項目	初期硬化時間		上塗り材施工可能時間	
	可使時間	23℃	5℃	夏季	冬季
OTプライマー-QQ	－	1時間	3～4時間	1日以内	3日以内
OTプライマー-A	－	3～4時間	6～8時間	3日以内	5日以内
速硬化OTプライマー-Mブルー	－	1時間	3～4時間	1日以内	3日以内
OTプライマー-水系18	1時間	4～6時間	10～12時間	3日以内	5日以内
VTプライマー	2時間	3～4時間	6～8時間	3日以内	5日以内
プライマー-BP	－	20分	1時間	2日以内	5日以内
プライマー-PG	1.5時間	2時間	4時間	7日以内	10日以内

- 可使時間 …………… 材料を混合してからの使用可能な時間です。
- 初期硬化時間 …………… タックフリーとなり次工程作業を開始できる時間です。
- 上塗り施工可能時間 …… 時間内にウレタン防水材の施工を完了してください。
時間を過ぎてしまった場合は、目荒し・清掃してから速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。
- 注意 …………… 一度開栓したプライマーはできるだけ当日中に使い切ってください。

ウレタン防水の乾燥・硬化時間

品名	項目	初期硬化時間		上塗り材施工可能時間	
	可使時間	23℃	5℃	夏季	冬季
オルタックサンキュアR	50分	6時間		2日以内	2日以内
オルタックサンキュアT	55分	3～4時間		2日以内	5日以内
オルタックサンキュアHS	55分	3～4時間		2日以内	5日以内
オルタックサンキュア500/50	45分	4～5時間		2日以内	2日以内

- 可使時間 …………… 材料を混合してからの使用可能な時間です。
- 初期硬化時間 …………… タックフリーとなり次工程作業を開始できる時間です。
- 上塗り施工可能時間 …… 時間内に防水材塗り重ね、あるいは保護塗料の施工を完了してください。
時間を過ぎてしまった場合は、速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。
- 注意 …………… 一度開栓した防水材はできるだけ当日中に使い切ってください。防水材は計量後、直ちに混合攪拌を行ってください。

保護塗料の乾燥・硬化時間

品名	項目	初期硬化時間		開放時間	
	可使時間	23℃	5℃	夏季	冬季
OTコートA/OTコート防カビ	4時間	3時間	5時間	5時間	12時間
速硬化OTコートA	2時間	1.5時間	3時間	2時間	5時間
OTコートクール	4時間	3時間	5時間	5時間	12時間
OTコートシリコーン/防カビ	4時間	3時間	5時間	5時間	12時間
速硬化OTコートシリコーン	2時間	1.5時間	3時間	2時間	5時間
OTコートシリコーンクール	4時間	3時間	5時間	5時間	12時間
OTコートフッ素/フッ素クール	4時間	3時間	5時間	5時間	12時間
OTコート水系	1時間	4時間	8時間	5時間	12時間

- 可使時間 …………… 材料を混合してからの使用可能な時間です。
- 初期硬化時間 …………… 上に乗って養生テープの撤去作業等ができますが、十分な強度は発現していませんので、靴底でひねったりしないよう歩行に注意してください。
- 開放時間 …………… 一般開放できる時間です。
- 注意 …………… 一度開栓した保護塗料はできるだけ当日中に使い切ってください。
可使時間を過ぎた場合は、仕上がりに影響が出ることがありますので、使用しないでください。

硬化時間などは目安であり、日射や通風によって異なる場合があります。

硬化促進剤の使用方法について

「サンキュア用硬化促進剤」を加えることで、より短期間の工程組みが可能です。

サンキュアRは、M(春夏秋用)、W(冬用)の季別があります。

サンキュアT、HSは、無印(通年用)で季別はありません。

オルタックサンキュアR

防水材1セット(32kg)に対する添加限量

		32kg/セットあたりの添加量(重量比)	初期硬化時間	
			M(春夏秋用)	W(冬用)
気温	23℃	なし	6時間	3時間
		800cc(2.5%)	5.5時間	2.75時間
		1,600cc(5.0%)	5時間	2.5時間
	10℃	なし	11時間	5.5時間
		800cc(2.5%)	8.5時間	4.5時間
		1,600cc(5.0%)	7.5時間	4時間
	5℃	なし	14.5時間	8時間
		800cc(2.5%)	11.5時間	6.5時間
		1,600cc(5.0%)	9.5時間	5.5時間

オルタックサンキュアT・HS

防水材1セット(24kg)に対する添加限量

		24kg/セットあたりの添加量(重量比)	初期硬化時間
			無印(通年用)
気温	23℃	なし	3~4時間
		600cc(2.5%)	2.5時間
		1,200cc(5.0%)	2時間
	10℃	なし	6時間
		600cc(2.5%)	3時間
		1,200cc(5.0%)	2.5時間
	5℃	なし	7.5時間
		600cc(2.5%)	5時間
		1,200cc(5.0%)	3時間

※「サンキュア用硬化促進剤」以外の硬化促進剤は使用しないでください。

※「サンキュア用硬化促進剤」の添加は5wt%までとしてください。

過剰に添加した場合、可使時間や物性の低下につながり、ピンホール等も発生しやすくなります。

材料紹介

JIS 認証品 JIS A 6021 認証品
特非 特化則非該当
有非 有機則非該当
鉛非 鉛非含有

オルタックサンキュアR

F☆☆☆☆



JIS 認証品
特非
有非
鉛非

新触媒により可使時間をのばした速硬化ウレタン防水材。

32kg/セット (主剤:16kg、硬化剤:16kg)
 配合比 1:1 硬化物比重 1.2

オルタックサンキュアT

F☆☆☆☆



JIS 認証品
特非
有非
鉛非

可使時間をのばした立上り用の速硬化ウレタン防水材。

24kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:16kg)
 配合比 1:2 硬化物比重 1.3
 ※6kgセットあり(受注生産品)

オルタックサンキュアHS

F☆☆☆☆



JIS 認証品
特非
有非
鉛非

可使時間をのばした巾木側溝用の速硬化ウレタン防水材。

24kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:16kg)
 配合比 1:2 硬化物比重 1.3
 ※6kgセットあり(受注生産品)

オルタックサンキュア500/50

F☆☆☆☆



JIS 認証品
特非
有非
鉛非

OSS(オルタックサプライシステム:自動混合・圧送システム)用のウレタン防水材。

500 450kg/セット (主剤:172kg、硬化剤:278kg)
 50 31kg/セット (主剤:12kg、硬化剤:19kg)
 硬化物比重 1.3 ※500、50共に受注生産品

OTプライマーQQ

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

コンクリート、モルタル下地用の速乾性ウレタン系プライマー。

16kg/缶

速硬化OTプライマーMブルー

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

塗布した部分が識別しやすい青色に着色した速乾性の既存ウレタン防水用仲介プライマー。

8kg/缶

OTプライマーA

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

コンクリート、モルタル下地用1液型のウレタン系プライマー。

16kg/缶

速硬化OTコートA

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

2液反応型速乾性アクリルウレタン系保護塗料。新配合で耐候性、耐久性が向上。有機則に該当する溶剤を一切使用しない新環境対応型。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)

サンキュア用硬化促進剤

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

オルタックサンキュア用の硬化促進剤。

7kg/缶
 *適正添加量を厳守してください。
 詳細については30ページをご参照ください。

OT増粘剤

F☆☆☆☆



特非
有非
鉛非

平場用防水材に添加し、バルコニー等(1/10勾配まで)、バラベット天端(1/6勾配まで)の施工に適した粘度に調整できる増粘剤。

1.6kg/缶(計量カップ付)

添加量

配合比	添加量	添加量目安
1:1品(オルタックサンキュアR)	0.3 重量%	約100cc/32kgセット

※バルコニー等(1/10勾配まで)への施工は、1回の塗布量を2.0kg/m²以下としてください。
 ※バラベット天端(1/6勾配まで)への施工は、1回の塗布量を1.0kg/m²以下としてください。

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

材料一覧

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

※下貼りシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

種類	品名	規格	備考
ウレタン塗膜防水材料	オルタックサンキュアR	32kg/セット(主剤:16kg、硬化剤:16kg)	速硬化型平面部用ウレタン防水材料 配合比1:1 硬化物比重1.2 JIS A 6021
	オルタックサンキュアT	24kg/セット(主剤:8kg、硬化剤:16kg)	速硬化型立上り用ウレタン防水材料 配合比1:2 硬化物比重1.3 JIS A 6021
	オルタックサンキュアHS	24kg/セット(主剤:8kg、硬化剤:16kg)	速硬化型巾木側溝用ウレタン防水材料 配合比1:2 硬化物比重1.3 JIS A 6021
	オルタックサンキュアT 6kg	6kg/セット(主剤:2kg、硬化剤:4kg)	立上り用ウレタン防水材料 配合比1:2 硬化物比重1.3 JIS A 6021 受注生産品
	オルタックサンキュアHS 6kg	6kg/セット(主剤:2kg、硬化剤:4kg)	巾木側溝用ウレタン防水材料 配合比1:2 硬化物比重1.3 JIS A 6021 受注生産品
	オルタックサンキュア500	450kg/セット(主剤:172kg、硬化剤:278kg)	速硬化型OSS用ウレタン防水材料 硬化物比重1.3 JIS A 6021 受注生産品
	オルタックサンキュア50	31kg/セット(主剤:12kg、硬化剤:19kg)	
添加剤	サンキュア用硬化促進剤	7kg/缶	専用硬化促進剤
	OT増粘剤	1.6kg/缶(計量カップ付)	防水材料用増粘剤
	アジャストE	13kg/缶	減粘剤
プライマー	OTプライマーQQ	16kg/缶	速硬化型ウレタン系プライマー (コンクリート、モルタル下地用)
	OTプライマーA	16kg/缶	ウレタン系プライマー(コンクリート、モルタル下地用)
	速硬化OTプライマーMブルー	8kg/缶	速硬化型青色着色ウレタン系伸介プライマー (ウレタン下地用)
	OTプライマー水系18	18kg/セット(主剤:12kg、硬化剤:6kg)	水性エポキシ系プライマー (コンクリート、モルタル下地用) 受注生産品
	水性プライマーMS	18kg/缶	セメントMS用水性アクリル系プライマー
	水性プライマーAS	17kg/缶	水性アスファルト系プライマー
	プライマーBP	0.45kg/缶	ウレタン系プライマー(金属下地用)
	プライマーPG	6kg/セット(主剤:4kg、硬化剤:2kg)	エポキシ系プライマー(加硫ゴムシート下地用)
VTプライマー	6kg/セット(主剤:2kg、硬化剤:4kg)	アクリルウレタン系プライマー(塩ビシート下地用) 色:クリア	
保護塗料	速硬化OTコートA	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	速硬化型アクリルウレタン系保護塗料 色:標準色4色(半つや) 受注生産色4色(半つや)
	OTコートA	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	アクリルウレタン系保護塗料 色:標準色4色(半つや) 受注生産色4色(半つや)
	OTコートAつやあり	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	アクリルウレタン系保護塗料 色:4色(つやあり)
	OTコート防カビ	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	防カビ防藻機能付アクリル系保護塗料 色:4色(半つや/つやあり) 受注生産品
	OTコートクール	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高反射型アクリルウレタン系保護塗料 色:標準色2色(半つや) 受注生産色1色(半つや)
	速硬化OTコートシリコーン	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	速硬化・高耐久シリコーン変性アクリルウレタン系 保護塗料 色:3色(つやあり)
	OTコートシリコーン	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高耐久シリコーン変性アクリルウレタン系保護塗料 色:3色(つやあり)
	OTコートシリコーン 防カビ	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	防カビ防藻機能付シリコーン変性アクリル系保護塗料 色:3色(つやあり) 受注生産品
	OTコートシリコーンクール	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高耐久・高反射型シリコーン変性アクリルウレタン系 保護塗料 色:標準色2色(つやあり) 受注生産色1色(つやあり)

材料一覧

種類	品名	規格	備考
保護塗料	OTコートフッ素	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高耐久フッ素樹脂系保護塗料 色:標準色1色(つやあり) 受注生産色2色(つやあり)
	OTコートフッ素クール	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高反射型高耐久フッ素樹脂系保護塗料 受注生産品
	OTコート水系	11kg/セット (主剤:1kg、硬化剤:10kg、減粘剤:500cc)	水性アクリルウレタン系保護塗料 色:2色(つやあり) 受注生産品
	SPスーパーサーモコート	18kg/缶	高反射型水性アクリル系保護塗料 色:1色
	SPサーモコート	18kg/缶	高反射型水性アクリル系保護塗料 色:3色
	SPミネラコート	18kg/缶	珪砂入り 水性アクリル系保護塗料 色:3色 受注生産品
シート類・補強布	オルタックシートGS	1m×20m巻	絶縁用粘着層付複合防水下貼りシート
	オルタックシートWS	1m×10m巻	絶縁用粘着層付複合防水下貼りシート 受注生産品
	オルタックシートGA	1m×20m巻	粘着層付複合防水下貼りシート
	オルタックシートLG	1m×10m巻	機械的固定用下貼りシート
	メッシュUB	1,040mm×100m巻	ウレタン防水材補強用ガラスメッシュ
	メッシュUBのり付き	1,040mm×100m巻	ウレタン防水材補強用ガラスメッシュ(のり付タイプ)
	メッシュUBソフト	1,020mm×50m巻	ウレタン防水材補強用ポリエステルメッシュ
ディスク類	ASディスク	直径:60mm 厚さ:1.6mm 100枚/箱	機械的固定用ディスク
	UPアンカー35/50/60/75	アンカー長さ:35、50、60、75mm 100本セット/箱	機械的固定用アンカー(ねじ込み式)
脱気材・ドレン	ステンレスペーパス	1個	平面部通気材(一般用)
	ステンレスペーパスW	1個	平面部通気材(断熱工法用)
	ステンレスペーパスG	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材
	ステンレスペーパスGW	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材(断熱工法用)
	立上り用ステンレスペーパス	4個セット/箱	立上り部用通気材
	リードレンZたて	1個	連結式改修用銅製ドレン
	リードレンZ横	1個	連結式改修用銅製ドレン
	リードレンキャップZたて/横	1個	リードレンZ専用連結式キャップ 色:黒
	リードレンCたて/横	1個	改修用銅製ドレン
	ドレンキャップ190	1個/箱	タテ型用キャップ(大) 色:黒
	ドレンキャップAS	5個/箱	タテ型用キャップ(小) 色:黒、ライトグレー
	ドレンキャップ横引用C200	1個/箱	横引用キャップ 色:黒
	ドレンキャップ横引用AS	1個/箱	横引用キャップ 色:ライトグレー
テープ材・シール材	テープGS	80mm×80m巻	オルタックシートGS用ジョイントテープ
	オルタックテープWフィルムタイプ	97mm×50m巻	オルタックシートWS用ジョイントテープ 受注生産品
	オルタックテープマルチ	197mm×50m巻	オルタックシートLG用ジョイントおよび コーナー用補強テープ
	オルタックLGパッチ	直径:120mm 300枚/袋	オルタックシートLG用パッチ材
	オルタックアゴテープ	48mm×50m巻	パラベットアゴ下地専用切りテープ
	エンドラップテープ50/100/200	50/100/200mm×50m巻	粘着層付補強用ガラスメッシュテープ
	ルートガードテープ	100mm×50m巻	断熱材ジョイント隙間、段差調整用テープ
仕上げ材	OTシール	320ccカートリッジ 20本/梱包	ウレタン系シーリング材(速乾性1液)
	Uチップ	300g/箱	粗面仕上げ用ウレタンチップ #20
	Mチップ	420g/箱	粗面仕上げ用無機質微小中空球体

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
 ※下貼りシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

種類	品名	規格	備考
断熱材	GIボードW	1,200mm×900mm 厚さ:25、30、35、40、50mm	ノンフロン硬質ウレタンフォーム 40mmは受注生産品
	ギルフォームS	605×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60mm	硬質ウレタンフォーム
その他	バリボードPS	1m×0.9m 厚さ:4mm	絶縁用複合防水下貼りアスファルト成型板
	セメントMS	1.3kgカートリッジ 12本/箱(ノズル2本入り)	ギルフォーム貼付用接着剤
	レイコーセメント	18kg/缶	バリボードPS、ギルフォーム用接着剤
	Kウオーク	1,000mm×1,000mm 厚さ:3mm 1枚	断熱軽歩行用樹脂製ボード
	KF接着剤	18kg/缶	片面塗布型ウレタン系接着剤
	VTエース	2kg/本 9本/箱(専用クシ目刷毛入り)	GIボードW接着用変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤

各種断熱材 厚さ別梱包数

厚さ	梱包数(枚/梱包)	
	ギルフォームS	GIボードW
25mm	16	10
30mm	14	8
35mm	12	7
40mm	10	6
50mm	8	5
60mm	7	—

使用上の注意とメンテナンス

ご使用時の注意点

- オルタックサンキュア防水層の上を歩行する場合は、ゴム底等の底が柔らかい履き物を使用してください。
- 重量物、振動する物や鋭利物を、防水層の上に置かないでください。
- 漏水の原因となりますので、鋭利物で防水層を傷つけたり、物を落としたり引き摺ったりしないでください。
- 防水層が劣化しますので、防水層の上に溶剤、薬品類をこぼしたり流したりしないでください。
- 防水層の上で火を燃やしたり、タバコを投げ捨てたりしないでください。
- 他の屋根の排水を防水層上に流さないでください。また、フラワーポット等、常時水が流れる物を置かないでください。
- 防水層の上に客土して草木の栽培を行わないでください。
- 防水層の表面に水や雪等があると滑り易くなりますので、歩行には注意してください。
- 防水層の仕上げとして、SPミネラコート、ステップ等をご採用の場合も、防水層の取扱いは上記事項を遵守してください。

メンテナンスのお願い

- 防水層に苔・草等を生やさないように、側溝、ドレン周辺に土砂等がたまったら、定期的に取り除いてください。
- 防水層の端末、排水ドレン周辺は、半年毎に点検を実施し、異常があった場合はご相談ください。
- 防水層の仕上げ塗料については、定期的専門技術者へ点検を依頼し、必要と判断された場合には、同一塗料での塗り替えをおすすめします。
- 防水層の点検、補修、仕上げ塗料の再塗布には、専門技術が必要です。当社または工事をした防水施工業者へ依頼してください(有償)。

北海道防水改修事業センター
東北防水改修工事協同組合
関東防水管理事業協同組合
東海防水改修工事協同組合
北陸防水改修事業センター
関西防水管理事業協同組合
中国防水改修事業センター
九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社
https://tajima.jp

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

神戸営業所

〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-17
TEL 078-330-6866

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111

カタログ掲載上のおことわり

- ・印刷の色味は現物と異なる場合があります。
- ・各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
- ・各仕様ページの工程図は、工程を分かりやすく示すことを目的としたイメージ図です。下地や材料の形状・寸法・色は実際と異なります。